第36回インターハイ

中京，小松市女

男子　女子

古豪が制す

昭和60年度全国高校総体・第36回全日本高校ハンドボール選手権大会は、8月1日から7日まで石川県小松市で開催された。

選抜優勝の男子・横浜商工、女子・名短付が共に4回戦で敗れ去り、混戦の中から抜け出したのは、男子は中京（愛知）で6年ぶり5回目の優勝を飾った。また、女子は地元の期待を担った小松市女（石川）が評判通りの強さを見せて4年ぶり6回目の優勝を飾った。

男子

▼1回戦

東山（京都）36〔17−5／19−5〕10 古川工（宮城）

○…前半3分で古川工のパスミスから東山が速攻で立て続けに3本を決め、主導権をがっちりつかんだ。7分過ぎから古川工はロングで応戦するが、パスがつながらず苦しいタイミングでのシュートのためGKに読まれた。後半も古川工のパスミス、シュートミスからの速攻で、東山の一方的試合で終了した。（菅野）

	〔古川工〕	得	〔東山〕	得
GK	氏家	0	梯	0
GK	野田	0	藤井	0
FP	佐々木茂	3	岩成	9
FP	佐々木義	2	内田	10
FP	本田	0	橋本	8
FP	小野寺	1	浅見	1
FP	後藤	0	児島	3
FP	渡辺	4	吉田	1
FP	佐々木幸	0	田辺	2
FP	相沢	0	伊庭	0
FP	藤田	0	小島	2
FP	佐々木康	0	刑部	0
		10		36
PT	(1)		(1)	

〔審・岡本・清水〕

境（鳥取）15〔10−5／5−9〕14 四日市工（三重）

○…お互いに初戦ということで動きが悪くミスが多くなる。四日市工は真島を中心にポストへの攻撃をしかけるが、10分過ぎから境が攻撃を読み、パスカット、シュートミスから角、吉田の速攻で得点、前半10−5のリードで終了。後半に入り四日市工も速攻が出始めるが、今一つシュートに正確さを欠き、また境のGKの再三の好プレーもあり、1点差で勝利を得る。（辻）

	〔四日市工〕	得	〔境〕	得
GK	森	0	野村	0
GK	服部	0	菅沢	0
FP	中山	1	滝本	2
FP	久保	1	吉田	6
FP	真島	4	本池	2
FP	吉見	4	増馬	1
FP	岡崎	2	角	4
FP	小林	2	門永	0
FP	功刀	0	由永	0
FP	藤井	0	曽田	0
FP	加藤	0	高橋	0
FP	酒匂	0	来間	0
		14		15
PT	(1)		(1)	

〔審・島崎・井上〕

高松商（香川）23〔13−10／10−8〕18 高島（滋賀）

○…高島がすべり出し好調に3点先取しペースに乗るかに見えたが、高松商の速攻がよく決まり出した。前半10分過ぎから5−5の同点となる。その後も稲垣、稲澤のコンビにより着々と得点を重ねて、高松商が初戦を飾った。（大橋）

	〔高島〕	得	〔高松商〕	得
GK	納本	0	平田	0
GK	山崎	0	大橋	0
FP	万木	3	稲澤	6
FP	西川	5	造田	0
FP	西沢	2	後井	0
FP	沢井	0	岩部	5
FP	本間	2	稲垣	3
FP	田中	6	浜田	2
FP	村山	0	細川	0
FP	沢	0	藤澤	1
FP	加藤	0	竹内	4
FP	清水	0	吉馴	2
		18		23
PT	(1)		(3)	

〔審・中村・佐野〕

浦和実（埼玉）21〔12−3／9−4〕7 長岡大手（新潟）

○…前半立ち上がり、お互いにボール回しから1対1のマンツーマン、ポストプレーと同じパターンの攻防で10分まで3−2の接戦。しかし、10分を過ぎた頃から長岡にミスプレーが続出、浦和実はこのミスを確実に得点に結びつけ、12−3とペースをつかみ前半を終了。後半はメンバーを入れ替えた浦和実は前半程得点が伸びず苦戦したが、前半のリードがものをいい初戦を飾った。（大塚）

	〔長岡大手〕	得	〔浦和実〕	得
GK	長谷川	0	長山	0
GK	庭崎	0	青山	0
FP	鷲尾	1	滝沢	5
FP	清水	3	二階堂	5
FP	佐藤	0	田島	2
FP	林	0	鈴木	2
FP	吉田	0	湯井	2
FP	水島	3	清水	0
FP	丸山	0	瀬尾	4
FP	山田	0	堤	0
FP	多川	0	渡部	1
FP	池津	0	小栗	0
		7		21
PT	(1)		(0)	

〔審・中根・秋山〕

富士（静岡）20〔10−9／10−7〕16 花巻北（岩手）

○…花巻北は前半5分間3連続得点し試合を有利に展開する。立ち上がり固くなっていた富士も大草のフリースローで得点してから徐々に固さがとれ、16分には6−6の同点とする。その後、富士がペナルティースロー2本でリードを奪い前半を終わる。後半に入ると花巻北のセット、速攻が出て同点とし一進一退のゲーム展開となる。富士のセットプレーに対し花巻北・伊藤のポストプレーで対抗する。後半15分過ぎから花巻北のポストプレー攻撃にミスが目立ち始め、また、富士が花巻北のアタックディフェンスのスキをつきカットインで確実に得点を重ね勝利をつかむ。（川島）

	〔花巻北〕	得	〔富士〕	得
GK	工藤	0	酒井	0
GK	山本	0	大向	0
FP	岩角	6	内藤	1
FP	小口	4	大草	8
FP	菅原	0	高比良	2
FP	伊藤	3	佐藤	0
FP	菊地	1	山浦	5
FP	馬場	1	池田	3
FP	川村	0	中村	0
FP	佐藤	0	横山	0
FP	長谷川	0	水野	1
FP	千葉	1	上柳	0
		16		20
PT	(1)		(2)	

〔審・宮沢・小林〕

日大明誠（山梨）19〔10−5／9−5〕10 鹿児島工（鹿児島）

○…すべり出しは非常にせり合ったゲームの展開であったが、前半15分過ぎから日大明誠がGK白土の好守を軸に速攻をくり出し、10−5とリードして前半を終了。

後半に入ってもゲームの流れは変わらず、日大明誠としては楽な試合運びであった。鹿児島工としては、ペナルティースロー、ワンマン速攻など点の取れるところで確実に決められなかったことが痛かった。（川合）

得	〔日大明誠〕		〔鹿児島工〕	得
0	白土	GK	野元	0
0	柳沢	GK	益満	0
6	小河原	FP	南部	2
2	青木	FP	笹平	1
0	荒井	FP	江夏	0
0	竹林	FP	吉留	0
2	永田	FP	永田	3
4	吉野	FP	吉松	0
1	小崎	FP	直村	0
0	榎本	FP	上入佐	0
1	小久保	FP	山口	0
3	浅賀	FP	富谷	3
19	(1)	PT	(2)	10

（審・庄司 志々場）

岩国工（山口）26〔11—13 15—12〕25 竹園（茨城）

○…前半は岩国工のロングを中心とした攻撃に対して竹園も細かいパスワークからのポスト攻撃で互角の展開であった。後半に入り岩国工はロング、速攻と好調なすべり出しを見せたが、ディフェンスに甘さが見られ、1点を争うクロスゲームとなった。両チーム共ディフェンスに課題がある。（中田）

得	〔岩国工〕		〔竹園〕	得
0	下宮	GK	大竹	0
0	岡本	GK	坂本	0
3	松本	FP	本藤	3
5	千葉	FP	中根	3
4	笹川	FP	押味	8
6	藤本	FP	大輪幸	4
2	上村	FP	岩下	6
3	白石	FP	田村	0
0	松永	FP	田中	1
0	稗田	FP	柴田	0
0	貫船	FP	大輪和	0
3	柏崎	FP	小泉	0
26	(5)	PT	(3)	25

（審・菅野 半田）

新居浜工（愛媛）25〔12—7 13—6〕13 高岡向陵（富山）

○…常に自軍ペースの試合運びを考え、長嶺のロング、そしてポスト攻撃、時おり見せる速攻で着着と得点をあげる新居浜工、一方今一つペースがつかめず、攻撃もディフェンスに近くなり、思うように得点出来ない高岡向陵、前半は13—6と新居浜工のリードでおり返す。後半高岡向陵の追い上げが期待されたが、スカイプレーなどで加点するものの新居浜工のリズムを崩すまでには至らなかった。（辻）

得	〔新居浜工〕		〔高岡向陵〕	得
0	山口	GK	寿田	0
0	浅田	GK	小林	0
7	高石	FP	大森	2
2	西原	FP	大江	3
0	村上	FP	笹谷	0
3	萬屋	FP	古川	3
0	立花	FP	金森	0
8	長嶺	FP	吉田	5
1	佐藤	FP	永屋	0
0	崎田	FP	広瀬	0
4	石川	FP	杉沢	0
0	河崎	FP	藤井	0
25	(2)	PT	(1)	13

（審・島崎 井上）

明星（東京）33〔15—3 18—1〕4 真室川（山形）

○…明星のディフェンスが良く、真室川の足が止まり単調な攻撃となった。守りからの速攻で明星は楽々とポイントをあげ一方的な試合となった。（久保田）

得	〔明星〕		〔真室川〕	得
0	宮田	GK	富山	0
0	伊藤	GK		
6	富所	FP	叶内	2
5	鈴木	FP	高山	2
0	矢ヶ崎	FP	高橋	0
8	松本	FP	沓沢崇	0
3	政	FP	丹	0
0	唐川	FP	田口	0
3	石井	FP	沓沢伸	0
7	江原	FP	木戸	0
1	中里	FP		
0	布田	FP		
33	(3)	PT	(2)	4

（審・佐野 中村）

倉敷天城（岡山）20〔13—8 7—7〕15 金津（福井）

○…出足倉敷はパスカットからの速攻で3点連取したが、10分に金津に追い上げられ同点とされる。その後両チーム共チャンスがあるが、パス、シュートが単調でミスが多く、互いに苦戦となる。後半両チームのGKの好守が続き、決定的リードが奪えず、シーソーゲームが展開されたが、20分過ぎから倉敷が速攻、カットインプレーで連続得点し逃げ切る。一方、金津は最後まで攻撃リズムがつかめず苦杯を喫す。（旅）

得	〔倉敷天城〕		〔金津〕	得
0	小橋太	GK	熊本	0
0	竹内	GK	定池	0
0	森本	FP	角谷	7
0	木村	FP	田川幹	2
0	岩崎	FP	磯野	1
0	村田	FP	田川敬	3
1	小橋研	FP	田中	0
4	武	FP	北島	2
10	高橋	FP	井上	0
2	見持	FP	瀬川	0
3	妹尾	FP	平田	0
0	亀岡	FP	吉川	0
20	(1)	PT	(0)	15

（審・後藤 大塚）

土佐（高知）33〔17—12 16—6〕18 佐賀農（佐賀）

○…3—3の同点から土佐は高橋、浜田の両サウスポーの回り込みからのミドルの連発などで6点を連取し一気にゲームを決めてしまった。前半中ばからは、メンバーを替えながらも確実な速攻などで終盤にも5連続得点し16—6で前半を終わる。一方の佐賀農も元島のやわらかいセンスのいいプレーで対抗、後半スタートからディフェンスを1・5に変え挽回を計ったが、巧くいかず、土佐の基本を大切にしたのびのびしたプレーが目立った。（森）

得	〔土佐〕		〔佐賀農〕	得
0	山中	GK	森	0
0	中山	GK	野上	0
6	仙頭	FP	小野	1
4	高橋	FP	鶴	2
3	宮崎	FP	山口	0
5	浜田	FP	江島	2
3	田所	FP	片渕	0
3	沢田	FP	元	11
4	武田	FP	田中	2
2	初田	FP	土井	0
2	千種	FP	溝口	0
1	久保	FP	松尾	0
33	(3)	PT	(1)	18

（審・宮沢 小林）

添上（奈良）21〔10—9 11—10〕19 湯沢（秋田）

○…前半スタートから一進一退のゲーム展開で、20分過ぎ添上が8—6と2点リードしたがすぐに同点に追いつかれる。前半終了寸前に添上が速攻で1点を取り11—10で終了。後半、添上ペースで常にリード、速攻の添上に対し湯沢は身長の高さでセットで加点、21—19で添上の勝利。（庄司）

得	〔添上〕		〔湯沢〕	得
0	石原	GK	市川	0
0	深瀬	GK	菅原	0
2	岩本	FP	柴田	2
3	吉迫	FP	最上	1
4	山中	FP	佐藤明	5
7	中盛	FP	赤東	6
3	葛西	FP	渡辺	2
2	阪本	FP	和賀	0
0	神薗	FP	佐藤実	3
0	岩田	FP	高山	0
0	河島	FP	佐々木徹	0
0	鈴木	FP	佐々木一	0
21	(0)	PT	(1)	19

（審・吉田 川合）

西宮東（兵庫）34〔17—5 17—6〕11 上田（長野）

○…フットワークを用いた正しい防御をする西宮東が、堅い守りから速攻で連続して得点を重ね前半で勝負を決めた。一方上田は、西宮東の厚い防御を突破出来ずチャージングをよく取られ、無理なロングのため速攻を受け、ポストへのパスもカットされ全く力を発揮出来なかった。上田は7回の退場と1名の失格を出し、正しい防御法が理解出来ていないと思われる。（清水）

得	〔西宮東〕		〔上田〕	得
0	宮内	GK	宮下	1
0	鈴木	GK	土屋	0
0	広瀬	FP	斉藤	1
0	野口	FP	小田中	0
7	安島	FP	細田	1
8	中	FP	下村	2
4	岡田	FP	山本	0
1	石原	FP	佐藤	6
2	桜井	FP	小林	0
9	畑	FP	塚野	0
1	堀	FP	山崎	0
2	堺	FP	中島	0
34	(4)	PT	(1)	11

（審・中田 阿部羅）

小松明峰（石川）23〔13—7 10—4〕11 国学院栃木（栃木）

○…前半から小松明峰・泉、藤本の切れの良いフェイントからのシュートやミドルシュートが決まり、15分6—4と2点をリード。その後は小松の一方的な展開となり、後半に入っても国学院栃木の無理なシュートを確実に速攻に結びつけ差を広げた。国学院はややコンビがとれず、パスミス、シュートミスが目立った。（赤地）

〔国学院〕	得		〔小松明峰〕	得
伊藤	0	GK	中村	0
杉山	0		河南	0
田村	3	FP	向井	5
設楽	1		白川	1
横川	2		生田	1
野口	2		泉	8
渡辺	0		川潟	1
狐塚	0	（審・西沢 辻）	藤本	7
荒川	0		明	0
野沢	1		打田	0
杉江	2		鮫島	0
霜村	0		西東	0
(3)	11	PT	(3)	23

岐阜商 19（10―5、9―11）16 那賀
（岐阜）（和歌山）

○…前半、那賀はやや元気がなく、岐阜商に走り込まれ、攻撃で岐阜商のディフェンスを打ち破ることが出来ず、10―5で前半を終了した。後半に入り岐阜商の守りが雑になり一進一退の攻防となったが、那賀の力及ばず、19―16で岐阜商が勝利を収めた。（中村）

〔那賀〕	得		〔岐阜商〕	得
谷沢	0	GK	浅野	0
井上	0		鵜飼	0
倉沢	1	FP	今尾	0
安田	1		田島	0
浜野	2		田中	5
田中	0		貢	5
上野年	2		安江	0
平松	7	（審・伊藤 九田）	田原	1
上野昌	0		日置	1
宮城	2		片岡	2
中芝	0		石原	5
南之園	1		田沢	0
(4)	16	PT	(2)	19

富岡 36（17―1、19―6）7 池田
（群馬）（徳島）

○…パワー、スピード、テクニック全てに上回る富岡が速い動きで池田を圧倒。しかし、池田はセットプレーで懸命に反撃を試みるが、富岡の厚い壁を破ることが出来ず、アッという間に速攻を許してしまう。前半で17―1の大差がついてしまったが、ゲームを捨てることなく黙々とプレーを続ける池田セブンの額には汗がキラリと光っていた。（大塚）

〔池田〕	得		〔富岡〕	得
千葉	0	GK	神保	0
大塚	0		清水	0
堀江	1	FP	斉藤	0
西内	1		井森	2
三木	5		加藤	7
久保	0		中沢	1
古本	0		東崎	3
大山	0	（審・旅 田島）	田村	6
林	0		井上	3
梶田	0		岡部	3
吉本	0		小金沢	9
濱口	0		篠崎	2
(0)	7	PT	(2)	36

▼2回戦

横浜商工 23（9―6、14―9）15 東山
（神奈川）

○…お互いにスピードあるプレーが試合開始より展開される。5分過ぎ、横浜・中村のパスカットからの速攻で流れが横浜になり4点速取。東山もポスト、ミドルと得点を加え、一進一退のゲームに。後半に入ってもお互いにチームの特色を出し切り好ゲームが展開される。また、両GKも再三好キーピングを見せる。12分過ぎ東山・岩成の退場を機にミスが東山に目立ち、横浜がチャンスを確実に得点。お互いに実力を出し切り好ゲームであった。（辻）

〔東山〕	得		〔横浜商工〕	得
梯	0	GK	糸井	0
藤井	0		小泉	0
岩成	3	FP	五反田	3
内田	4		片桐	2
橋本	5		土島	1
浅見	2		小山	0
児島	1		呉座英	4
吉田	0	（審・庄司 志々場）	小笠原	0
田辺	0		中地	0
伊庭	0		呉座智	9
小島	0		中村	4
刑部	0		斉藤	0
(1)	15	PT	(3)	23

境 22（11―4、11―8）12 小林工
（宮崎）

○…前半立ち上がり境がポスト、ロングで2点を先行。小林工も速攻で1点返すが、セットでは境の早いつめを攻めあぐみ、ミスを速攻に結びつけられ、15分過ぎに2―6とリードされる。小林工もその後追い上げるが、境が小林工の退場のスキをつき得点を重ね、11―4と境リードで前半終了。後半も境が吉田のポストで先行、直後に境が退場者を出すが、小林工にミスが目立ち境に走られ、15分には19―7とリードを広げられた。小林工も最後まで試合を捨てず食い下がったが、痛いところで退場者が出て点差を縮められなかった。（宮沢）

〔小林工〕	得		〔境〕	得
池之上	0	GK	野村	0
今別府	0		菅沢	0
川子	1	FP	滝本	2
安楽	1		吉田	4
黒木	8		本池	6
岡原	2		増馬	3
半田	0		角	4
菊村	0	（審・島崎 井上）	門永	0
新竹	0		由永	0
桶渡	0		曽田	3
山崎	0		高橋	0
福元	0		来間	0
(2)	12	PT	(1)	22

興南 21（8―6、13―7）13 高松商
（沖縄）

○…立ち上がり興南はシュートミスがあったが、ポスト、速攻で2点を取る。一方高松商は、相手ディフェンスを破ることが出来なかったが、7分過ぎから4点を連取。その後1点を争うゲームが続き、前半8―6と興南リードで終わる。後半、相手のミスからのボールを点に結びつけた興南がゲームをものにした。興南のGK比嘉が、相手シュートをよく止めた。（九田）

〔高松商〕	得		〔興南〕	得
平田	0	GK	比嘉	0
大橋	0		我謝	0
稲澤	3	FP	宮城守	0
造田	0		具志堅	5
後井	0		平良	0
岩部	2		与儀	2
稲垣	1		宮城一	3
浜田	3	（審・大橋 久保田）	上原雅	2
細川	0		我如古	4
藤澤	3		国頭	5
竹内	1		上原尚	0
吉馴	0		吉浜	0
(3)	13	PT	(1)	21

浦和実 21（14―7、7―1）8 飯南
（島根）

○…前半立ち上がりから浦和実は多彩な攻撃で加点する。飯南は3分過ぎの1点目から9分間得点がなかったが、12分過ぎから反撃し始め、21分過ぎ9―7まで追い上げた。しかし、その後浦和が5

〔飯南〕	得		〔浦和実〕	得
前田	0	GK	長山	0
安井	0		青山	0
森山	0	FP	滝沢	6
柚木	2		二階堂	5
高橋	0		田島	2
田中	1		鈴木	1
比毛	3		湯井	3
岩崎	2	（審・吉田 川合）	清水	0
矢飼	0		瀬尾	2
石原	0		堤	0
中岡	0		渡辺	1
滝本	0		池沢	1
(0)	8	PT	(2)	21

点連取し、14―7で前半を終わる。後半両チーム共ミスが目立ったが、地力に勝る浦和実がそのまま押し切った。（古富）

桃山学院 22（13―4 9―4）8 富士
（大阪）

○…富士の先取点で緊迫したゲームになるかと思われたが、それも前半中ばまで。富士はフェイントではずしながらシュートチャンスを探し、内藤、大草が良く打ったが、僅かにGKに取られてそれが桃山学院の力強いハーフ速攻につながり得点をあげた。

桃山はスケールの大きい動きと素早いカットインからのシュートを重ね、余裕を持ったゲーム運びを見せた。（伊藤）

	〔富士〕	得
GK	酒井	0
	大向	0
FP	内藤	5
	大草	1
	高比良	0
	佐藤	1
	山浦	1
	池田	0
	中村	0
	横山	0
	水野	0
	上柳	0
PT	(0)	8

（審・旅 田嶋）

	〔桃山学院〕	得
GK	浅澤	0
	中村	0
FP	鍋本	4
	小林	8
	船越	0
	大畑	5
	南	3
	大坪	0
	辻	0
	坂口	1
	桑原	1
	森岡	0
PT	(0)	22

小松工 28（14―5 14―7）12 日大明誠
（石川）

○…先取点は小松工が逆速攻からペナルティースローを得て太田が決める。その後も早い出足から速攻で得点を重ねた。一方、日大明誠は攻撃のリズムに乗れず、9分浅賀のサイドシュートが決まりリズムに乗るかと思えばその後6分間無得点。前半を終って9点差。後半に入っても小松工のスピーディな動きに日大明誠はついていくことが出来なかった。（中根）

	〔日大明誠〕	得
GK	白土	0
	柳沢	0
FP	小河原	1
	青木	0
	荒井	1
	竹村	1
	永田	1
	吉野	4
	小崎	0
	榎本	0
	小久保	2
	浅賀	2
PT	(2)	12

（審・菅野 半田）

	〔小松工〕	得
GK	釜田	0
	北野	0
FP	橘	0
	松本	2
	古谷	4
	吉田	2
	太田	5
	今江	4
	中山	0
	関戸	11
	中出	0
	宮西	0
PT	(3)	28

岩国工 25（8―12 12―8 3―2 2―2）24 久留米工大付
（福岡）

○…スローペースのスタートから大きさ、テクニックに勝る久留米工大付は着々と得点を重ねて行くが、岩国工には決定的シュートが無く苦しむ。が、小さな白石が活躍し、12―8で前半終了。後半、いきなり岩国工に退場が2人続けて出る間に4得点。また、久留米にも退場者が出る間に19―15となる。20分頃からがぜん岩国工の猛反撃で24分に同点、延長戦に入る。延長の前半3―2で岩国がリード。後半は決定打のポストシュートで決まった。（志々場）

	〔久工付〕	得
GK	井上	0
	宣保	0
FP	田中	1
	小池	0
	松尾	4
	大中	7
	川崎	0
	笠	0
	島田	2
	竹内	6
	倉田	0
	山口	4
PT	(2)	24

（審・岡本 清水）

	〔岩国工〕	得
GK	大宮	0
	岡本	0
FP	松本	3
	千葉	4
	笹川	4
	藤本	9
	上村	1
	白石	4
	松永	0
	稗田	0
	貫船	0
	柏崎	0
PT	(2)	25

学法石川 24（12―11 12―12）23 新居浜工
（福島）

○…前半立ち上がり3点を連取した学法石川であったが、その後新居浜工の長嶺がフリースローからミドルシュートを決め、12―11と学法石川が1点をリードして前半を終了。後半8分、新居浜工が高石のシュートで追いつき、その後も着実に加点しこのままふり切るかに思われたが、残り4分学法石川が同点にし、逆転してそのまま逃げ切った。（佐野）

	〔新居浜工〕	得
GK	山口	0
	浅田	0
FP	高石	3
	西原	0
	村上	0
	萬屋	3
	立花	0
	長嶺	15
	佐藤	0
	崎田	0
	石川	2
	河崎	0
PT	(5)	23

（審・宮沢 小林）

	〔学法石川〕	得
GK	三宅	0
	先崎	0
FP	関根	0
	石川	6
	内田	3
	秋葉	5
	国井	0
	渡辺	0
	佐野	3
	木戸	6
	佐藤	1
	鈴木	0
PT	(3)	24

中京 23（11―7 12―11）18 明星
（愛知）

○…立ち上がりから両チームGKを中心とした堅いディフェンスで見応えのある試合となった。スピードある攻防で一進一退の展開から17分、18分に中京・堀田が、右、左のサイドからシュートを決め8―6。更に19分には大津の力強いステップシュート、22分に大橋のポストシュートで10―6とする。その後互いに1点ずつを取り前半は11―7で終了。後半、三輪のロングでペースをつかんだ中京が抜け出し、明星の反撃も中京GKの再三の好守にあい届かなかった。（阿部羅）

	〔明星〕	得
GK	宮田	0
	伊藤	0
FP	富所	1
	鈴木	5
	矢ヶ崎	0
	松本	6
	政	0
	唐川	0
	石井	0
	江原	3
	中里	0
	布田	3
PT	(1)	18

（審・大橋 久保田）

	〔中京〕	得
GK	西井	0
	奥野	0
FP	大橋	3
	安井	0
	三輪	5
	鹿嶌	7
	堀田	6
	大澤	1
	平松	0
	永谷	0
	佐藤	1
	福田	0
PT	(1)	23

大分電波 25（9―8 16―9）17 倉敷天城
（大分）

○…前半は、大分電波がサイド、ポストを軸に9得点をあげれば、倉敷天城がロングと速攻を軸に8得点をあげてほぼ互角の戦いであった。後半に入ってディフェンスの集中力が欠けた倉敷天城に対し大分電波はカットインと速攻で得点を重ね試合を決めた。倉敷天城は、GK小橋の再三にわたる好守

	〔倉敷天城〕	得
GK	小林太	0
	竹内	0
FP	森本	0
	木村	0
	岩崎	0
	小橋研	7
	武	2
	高橋	6
	見持	1
	妹尾	1
	亀岡	0
	佐々木	0
PT	(0)	17

（審・後藤 大塚）

	〔大分電波〕	得
GK	柴田	0
	石本	0
FP	湯浅	0
	植木	2
	崎野	5
	森	3
	大野	3
	篠田	7
	園田	0
	源内	5
	工藤	0
	高松	0
PT	(3)	25

を生かせなかったのが悔やまれる。（川合）

市　川 25（18―5 10―8）13 土　佐
（千葉）

○…立ち上がりから市川は早い動きから土佐陣内を襲い、宮川を中心にポストプレー、そして榎、本間、有坂のミドルシュートなどで得点。一方土佐も攻めるが、市川の早いつぶしのディフェンスに合い攻めあぐんだ。単調なシュートが目立ち、もう一つ仙頭を中心に攻撃に工夫が欲しかった。（田嶋）

得	〔市川〕		〔土佐〕	得
0	芳賀	GK	山中	0
0	橋本		中山	0
4	湯浅	FP	仙頭	2
2	野口		高橋	1
1	野沢		宮崎	1
6	小池		浜田	2
8	宮川		田所	3
1	高橋		沢田	2
0	横山		武田	2
2	本間		初田	0
2	榎		千種	0
2	有坂		久保	0
28	(1)	PT	(0)	13

（審・川島　森）

添　上 20（9―9 11―10）19 尾　道
（広島）

○…前半、尾道の速攻、サイドを中心とした攻撃と添上のポスト、ロングを主体とした攻撃で得点の応酬となった。後半、尾道・石井、平田と添上・阪本のロング合戦となり一進一退のゲーム展開となったが、パスワークに勝る添上がうまく阪本にボールを回したのと尾道ディフェンス陣にもう一歩のつめがなく、阪本に後半8得点を許してしまい涙を飲んだ。（村谷）

得	〔添上〕		〔尾道〕	得
0	石原	GK	浅川	0
0	深瀬		西原	0
3	岩本	FP	高垣	4
1	吉迫		大野	5
2	山中		石井	4
4	中盛		吉井	1
0	葛西		平田	3
10	阪本		山崎	0
0	神薗		光吉	1
0	岩田		土居	1
0	山本		西迫	0
0	後藤		奥本	0
20	(0)	PT	(2)	19

（審・菅野　半田）

西宮東 30（15―6 15―8）14 札幌琴似工
（北海道）

○…西宮東はフェイントからのカットイン、ミドルシュートを主体に一対一の攻撃で琴似工ディフェンスラインを突破。一方琴似工は、ローリングからポスト攻撃に的を絞って攻めたが、西宮東GKの好守にあって今一歩。結局、琴似工のミスをついての西宮東の速攻が冴え、西宮東が大勝した。両チーム共高校生らしく足を使ってのきびきびしたプレーは好感が持てた。（岡本）

得	〔西宮東〕		〔琴似工〕	得
0	宮内	GK	樋口	0
0	鈴木		八重樫	0
0	広瀬	FP	鶴田	3
0	野口		鈴木	0
8	安島		坂下	6
9	中条		横山	0
6	岡田		古川	0
1	石原		高橋	0
1	桜井		三ツ橋	0
3	畑		藤井	1
1	野口		石垣	0
1	堺		佐々木	4
30	(3)	PT	(1)	14

（審・西沢　辻）

小松明峰 24（10―8 14―9）17 天　草
（熊本）

○…両チーム共大砲はいないが小技を得意とし、速攻、ポスト、サイドシュートなどで得点を重ねていった。前半5分は小松明峰が、10分～15分は天草が得点というように、集中して加点していった。後半天草が奮起し、16分17―17と同点に追いついたが、そこまでだった。残り3～4分の間に6連続ゴールを許し、結局小松明峰が24―17でせり勝った。（中村）

得	〔小松明峰〕		〔天草〕	得
0	中村	GK	松村	0
0	河南		吉川	0
1	向井	FP	松岡	2
3	白川		大橋	5
2	生田		山下仁	0
3	泉		園田	0
0	川潟		高波	1
11	藤本		鎌田	5
4	明		山下和	0
0	打田		田尻	4
0	鮫島		川口	0
0	西東		山下義	0
24	(0)	PT	(1)	17

（審・井島　上崎）

青森商 29（13―9 16―7）16 岐阜商
（青森）

○…前半、両チーム共スピードに乗った攻撃で互角の立ち上がりであったが、前半途中より青森商はGK竹内の好キープ、カットからの速攻などで少しずつリードする形となった。後半立ち上がりから青森商・小金山、桜田などがポスト、速攻などで得点をあげ、要所では大村、米塚らのロングも決まり、岐阜商・田中、片岡らの健闘むなしく青森商の一方的な試合となったが、最後まで試合を捨てずプレーした岐阜商を讃えたい。（中田）

得	〔青森商〕		〔岐阜商〕	得
0	竹内	GK	浅野	0
0	西村		鵜飼	0
3	嶋野	FP	今尾	0
5	大村		田島	0
5	米塚		田中	5
0	関谷		貢	5
6	桜田		安江	0
3	山本		田原	1
6	小金山		日置	0
0	小笠原		片岡	3
1	山内		石原	2
0	宇野		田沢	0
29	(0)	PT	(2)	16

（審・小宮　林沢）

富　岡 24（13―6 11―10）16 瓊　浦
（長崎）

○…前半立ち上がり瓊浦は堅い富岡のディフェンスの前を執拗にワンフェイントからポストを狙うが、阻まれる。一方富岡は、スピードある縦の切り込みから滞空時間のあるジャンプシュートに瓊浦GKがタイミングが合わず、開始4分頃から終始富岡のペースで進み前半13―6で終わる。

後半に入り富岡のスピードが鈍りミス続出。これを速攻につないで瓊浦も必死に追い上げ、後半14分には17―15と2点差、ゲームは一段と盛り上がる。しかし、富岡GK必死のキーピングに再び元気を取り戻し、最後は24―16でふり切った。（大塚）

得	〔富岡〕		〔瓊浦〕	得
0	神保	GK	高田	0
0	清水		小川	0
5	斉藤	FP	田中	5
4	井森		末岡	1
6	加藤		池井	5
0	中沢		木下	0
5	東崎		佐藤	0
1	田村		永田	0
0	井上		森	5
0	岡部		町田	0
3	小金沢		前浜	0
0	篠崎		川口	0
24	(6)	PT	(2)	16

（審・古富　赤地）

▼3回戦

中　京 26（15－11、11－11）22 大分電波

○…立ち上がりから両チーム共にダイナミックに攻める。大分電波は先手を取ったが、中京の速攻、サイド攻撃に合い前半同点。後半に入っても一進一退。大分電波は大野のペナルティー、森の速攻、植木のサイドプレーなどで追いすがるが、中京は堅い守りから大橋の4本連続、鹿嶌らの速攻で大分電波をふり切った。（田嶋）

〔大分電波〕	得
柴田（GK）	0
石本（GK）	0
湯浅	0
植木	2
崎野	3
森	3
大野	4
篠田	6
園田	0
源内	4
工藤	0
高松	0
PT	(4)
計	22

〔中京〕	得
西井（GK）	0
奥野（GK）	0
大橋	7
安井	0
三輪	7
鹿嶌	3
堀田	4
大澤	3
平松	0
永谷	2
中嶋	0
川澄	0
PT	(0)
計	26

〔審・岡本、清水〕

市　川 25（12－7、13－6）13 添　上

○…前半、添上が中央からジャンプシュートするが、市川の身長の高いディフェンスに阻止され、その後市川の速攻、及びポストからのシュートが得点に結びつく。後半、市川はディフェンスが乱れた添上に対して連続的に加点する。市川が攻防に一歩リードしており、添上のディフェンスの甘さが目立ったゲームであった。（井上）

〔添上〕	得
石原（GK）	0
深瀬（GK）	0
岩本	2
吉迫	2
山中	1
中盛	4
葛西	3
阪本	1
神薗	0
岩田	0
山本	0
河島	0
PT	(0)
計	13

〔市川〕	得
芳賀（GK）	0
橋本（GK）	0
湯浅	5
野口	6
野沢	0
小池	4
宮川	7
高橋	0
横山	0
本間	1
榎	0
有坂	2
PT	(3)
計	25

〔審・志々場、庄司〕

小　松　工 21（14－8、7－6）14 桃山学院

○…まず桃山学院がポストプレーで先制、しかし、その後小松工がカットインプレーなどで4点連取して小松工のペースでゲームが進む。桃山の攻撃も次第に単調になり追加点に苦しんだが、持ち前の地力で1点差で前半を終了する。後半、よく走る小松工に対して桃山のディフェンスが甘くなり、徐々に差が開いたが、最後まで闘志を持ってお互い頑張ったゲームである。（半田）

〔桃山〕	得
浅澤（GK）	0
中村（GK）	0
鍋本	2
小林	5
松谷	0
大畑	2
南	2
大坪	1
辻	2
坂口	0
桑原	0
森岡	0
PT	(1)
計	14

〔小松工〕	得
釜田（GK）	0
北野（GK）	0
橋	0
松本	1
古谷	2
吉田	4
太田	4
今江	2
関戸	8
中出	0
宮西	0
吉村	0
PT	(2)
計	21

〔審・後藤、大塚〕

岩　国　工 20（13－6、7－13）19 学法石川

○…前半10分過ぎまでお互いにスピーディな攻撃展開で互角の様相であったが、中盤より岩国工のディフェンスが甘くなり、学法石川の攻撃がリズムに乗って点差を開き、6点差で前半を折り返す。後半に入り岩国工のディフェンスが良くなり、学法石川の攻撃が単調になるところを岩国工が速攻、セット攻撃が冴え着々加点する。一方学法石川は、中盤以降単発の加点にとどまり、じりじりと岩国工の追撃を許す。18分2点差、21分1点差、23分同点、そして終了間際に遂に岩国工は松本のカットインシュートで逆転、勝負を決した。（秋山）

〔学法石川〕	得
三宅（GK）	0
先崎（GK）	0
関根	0
石川	7
内田	2
秋葉	3
国井	0
渡辺	0
佐野	0
木戸	5
佐藤	2
鈴木	0
PT	(1)
計	19

〔岩国工〕	得
下宮（GK）	0
岡本（GK）	0
松本	3
千葉	3
笹川	5
藤本	3
上村	4
白石	2
松永	0
稗田	0
貴船	0
柏崎	0
PT	(1)
計	20

〔審・川島、森〕

横浜商工 26（12－7、14－5）12 境

○…スピード、テクニックに勝る横浜商工が安定したゲーム運びで勝利を収めた。境も吉田、本池と強力なロングシューターを持ち再三好シュートを放つが、ボールがわずかにゴールをはずれ、確実に得点をあげることが出来なかった。防御では境が前半ダブルマンツーに出たが、横浜のスピードのある攻撃を止めることが出来なかった。しかし、横浜も下がった防御で境にロングシュートを許しており、足のよく動くチームだけにもっと活動的な防御が出来ればと思われる。（清水）

〔境〕	得
野村（GK）	0
菅沢（GK）	0
滝本	1
吉田	5
本池	3
増馬	2
角	1
門永	0
由永	0
曽田	0
来間	0
PT	(2)
計	12

〔横浜〕	得
糸井（GK）	0
小泉（GK）	0
五反田	4
片桐	2
土島	1
呉座英	5
小笠原	2
中地	0
呉座智	7
中村	5
小野川	0
斉藤	0
PT	(5)
計	26

〔審・旅、田嶋〕

浦　和　実 22（10－7、12－10）17 興　南

○…前半立ち上がり興南が速攻とサイドシュートで2点先取したが、浦和実がすぐ同点に追いつき一進一退の好ゲーム。前半終了寸前、浦和実は滝沢のポストシュートで12－10と2点リード。後半2分、浦和実の鈴木がシュートを決め13－10とリード。興南もよく動きついていったが、着実に点を取る浦和実が22－17と興南を突き放した。（庄司）

〔興南〕	得
比嘉（GK）	0
我謝（GK）	0
具志堅	2
与儀	2
宮城一	4
上原雅	6
我如古	2
国頭	1
宮城広	0
上原尚	0
古浜	0
嶺井	0
PT	(0)
計	17

〔浦和実〕	得
長山（GK）	0
青山（GK）	0
滝沢	7
二階堂	7
田島	0
鈴木	5
湯井	0
清水	0
瀬尾	3
堤	0
渡部	0
小栗	0
PT	(0)
計	22

〔審・井島、上崎〕

西　宮　東 23（12－9、11－9）18 小松明峰

○…両チーム共テクニックとスピードを持ち接戦が予想された。前半、小松明峰のミスをうまく得点に結びつけた西宮東が一歩リード。後半に入り地元の応援を受け必死に追いすがる小松明峰を西宮東は洗練されたプレーと随所に見られたGK宮内の好守でかわし、23—18で勝った。（後藤）

〔小松明峰〕	得		得	〔西宮東〕
中村	0	GK	0	宮内
河南	0	GK	0	鈴木
向井	2	FP	0	広瀬
白川	0	FP	0	野口
生田	2	FP	5	安島
泉	4	FP	7	中条
川潟	0	FP	3	岡田
藤本	10	FP	0	石原
明	0	FP	3	桜井
打田	0	FP	2	畑
中出	0	FP	0	野口
西東	0	FP	3	堺
	18 (1)	PT	23 (1)	

（審・菅野、半田）

富岡28（13—9、15—10）19青森商

○…立ち上がりから両チーム共スピードに乗ったキビキビした走り、つなぎからミドルシュートが決まり好スタート。7分過ぎから青森商のちょっとしたミスをつき富岡が6点連取し10—3と主導権を握った。青森商も15分過ぎ米塚のミドルシュート3連発でやっと息を吹き返したが、15—10と富岡リードで前半終了。後半スタート直後リズムを崩した富岡を青森商は速攻、米塚のミドルなどで攻め中ばには20—19と1点差まで追い上げた。しかし、ここで青森商には悔やまれるPTを富岡・加藤が決め、やっと本来のペースの攻守に戻り8連続得点。追いすがる青森商を突き放した。（森）

〔青森商〕	得		得	〔富岡〕
竹内	0	GK	0	神保
西村	0	GK	0	清水
嶋野	3	FP	3	斉藤
大村	2	FP	5	井森
米塚	7	FP	6	加藤
関谷	0	FP	0	中沢
桜田	2	FP	5	東崎
山本	2	FP	3	田村
小金山	3	FP	0	井上
小笠原	0	FP	0	岡部
山内	0	FP	6	小金沢
宇野	0	FP	0	篠崎
	19 (0)	PT	28 (3)	

（審・中根、秋山）

▼4回戦

浦和実21（13—11、8—6）17横浜商工

○…前半開始早々、両チーム共互角に展開していったが、浦和実のディフェンスがよく、相手の反則を誘い出し、鈴木、湯井のコンビが良く8—6で前半を折り返す。後半に入っても横浜商工の動きに精彩がなく、最後までリズムに乗り切れなかった。（大橋）

〔横浜〕	得		得	〔浦和実〕
糸井	0	GK	0	長山
小泉	0	GK	0	青山
五反田	1	FP	7	滝沢
片桐	2	FP	4	二階堂
土島	0	FP	0	田島
小山	0	FP	2	鈴木
呉座英	4	FP	2	湯井
中地	1	FP	0	清水
呉座智	5	FP	6	瀬尾
中村	4	FP	0	堤
馬場	0	FP	0	渡部
斉藤	0	FP	0	小栗
	17 (2)	PT	21 (0)	

（審・岡本、清水）

岩国工26（16—6、10—16）22小松工

○…前半、波に乗る小松工は開始早々から古谷、大田、関戸がきれいに得点しペースをつかんだ。岩国工は10分過ぎから松本を中心に反撃し点の取り合いとなった。後半岩国工はGKの好守により速攻で10分までに6点をもぎとり13分には逆転した。小松工はシュートミスの連続で自滅した。（菅野）

〔小松工〕	得		得	〔岩国工〕
釜田	0	GK	0	下宮
北野	0	GK	0	岡本
橋	0	FP	5	松本
松本	0	FP	5	千葉
古谷	7	FP	4	笹川
吉田	1	FP	3	藤本
太田	7	FP	3	上村
今江	4	FP	6	白石
関戸	3	FP	0	松永
中出	0	FP	0	稗田
宮西	0	FP	0	貫船
吉村	0	FP	0	柏崎
	22 (1)	PT	26 (1)	

（審・後藤、大塚）

中京23（13—6、10—6）12市川

○…立ち上がりお互いにスピード、パワー互角の戦いであったが、10分過ぎから中京がじわじわと引き離す。

後半に入っても市川は中京のディフェンスを破ることが出来ない。一方中京は着実に得点、差を広げた。最後までスピードの落ちなかった中京が勝利をものにした。（九田）

〔市川〕	得		得	〔中京〕
芳賀	0	GK	0	西井
橋本	0	GK	0	奥野
湯浅	2	FP	2	大橋
野口	1	FP	2	安井
野沢	1	FP	5	三輪
小池	1	FP	2	鹿島
宮川	6	FP	6	堀田
高橋	0	FP	1	大澤
横山	1	FP	2	平松
本間	0	FP	0	中嶋
榎	0	FP	3	福田
有坂	0	FP	0	川澄
	12 (2)	PT	23 (1)	

（審・大橋、久保田）

選抜優勝の横浜商工は、4回戦で浦和実の前に敗れ去る

富岡24〔11―9 13―9〕18西宮東

○…前半、富岡はいつもの速攻からのオープン攻撃を使わず、一対一からポストと体力の消耗を防ぐ実に巧い攻撃を見せ、GKの好守もあってペースをしっかり守る。一方西宮東は、昨日までの切れが今一つ欠け、集中力も散慢になりミスが多く13―9と富岡リードで終わる。後半に入り西宮東は選手を入れ替り立ち替り交替させ、必死に反撃するが、富岡のスピードとパワーが衰えず、ベスト4に駒を進めた。（大塚）

	〔富岡〕	得	〔西宮東〕	得
GK	神保	0	宮内	0
GK	清水	0	鈴木	0
FP	斉藤	0	広瀬	0
FP	井藤	4	安島	2
FP	加藤	10	中条	5
FP	中沢	0	岡田	2
FP	東崎	5	石原	0
FP	田村	3	桜井	5
FP	井上	0	畑	3
FP	岡部	0	堀	0
FP	小金沢	2	堺	1
FP	篠崎	0	原田	0
計		24		18
PT		(2)		(1)

〔審・半田 菅野〕

▼準決勝

岩国工25〔11―11 14―7〕18浦和実

	〔岩国工〕	得	〔浦和実〕	得
GK	下宮	0	長山	0
GK	岡本	0	青山	0
FP	松本	3	滝沢	3
FP	千葉	4	二階堂	6
FP	笹川	5	田島	5
FP	藤本	9	鈴木	0
FP	上村	3	湯井	1
FP	白石	1	清水	0
FP	松永	0	瀬尾	3
FP	稗田	0	堤	0
FP	貴船	0	渡部	0
FP	柏崎	0	小栗	0
計		25		18
PT		(2)		(0)

〔審・森 小島〕

○…前半立ち上がり岩国工がポストシュートで点を取る。一方、浦和実は上からのシュートで点を取る。7分頃から岩国工がロングシュートを決め出し、速攻も決めじわじわと差を広げ、前半14―7と岩国工リードで終わる。後半に入って浦和実も必死に追いかけるが、岩国工がロングシュートで点を取り逃げ切った。（九田）

中京28〔18―7 10―14〕21富岡

○…前半、中京がロングシュート、サイドシュートを決めるが、富岡もパスを早くつなぎ速攻で点を取り10分までに9―3と富岡がリード。15分頃からお互い激しい攻め合いとなり、退場者、失格者が出る試合となった。後半がぜん中京が追い上げ、8分に遂に追いつく。12分頃から富岡の動きが悪くなったのに対し中京は速攻とロングシュートを決め富岡を突き放した。（九田）

	〔中京〕	得	〔富岡〕	得
GK	西井	0	神保	0
GK	奥野	0	清水	0
FP	大橋	4	斉藤	0
FP	安井	0	井森	3
FP	三輪	7	加藤	6
FP	鹿嶌	5	中沢	0
FP	堀田	9	東崎	3
FP	大澤	1	田村	4
FP	平松	1	井上	0
FP	永谷	1	岡部	1
FP	佐藤	0	小金沢	4
FP	福田	0	篠崎	0
計		28		21
PT		(3)		(3)

〔審・大塚 後藤〕

決勝戦は中京対岩国工という伝統校同士の対戦となったが、中京が後半一気に突き放して快勝

▼決勝

中京35〔18―9 17―14〕23岩国工

○…前半一対一から打てると見れば思い切ってシュートを決める岩国工とボールを回してシュートチャンスを作って点を取る中京という感じだったが、中盤、岩国工は元気がなくミスをする。それを中京が点に結びつけ点差を広げたが、岩国工も残り4分から得点を重ね17―14と中京の3点リードで前半を終える。

後半も6分までに中京が6点を連取、点差を広げる。中盤、両チーム疲れたのか緊張感のない試合となったが、中京が自分たちのペースにとなり動きが良くなって得点を重ね勝負決めた。

岩国工は最後まで本当の自分たちの力を出し切れなかったように見えた。（九田）

	〔中京〕	得	〔岩国工〕	得
GK	西井	0	下宮	0
GK	奥野	0	岡本	0
FP	大橋	6	松本	4
FP	安井	5	千葉	6
FP	三輪	7	笹川	6
FP	鹿嶌	5	藤本	5
FP	堀田	9	上村	1
FP	大澤	2	白石	1
FP	平松	0	松永	0
FP	永谷	1	稗田	0
FP	佐藤	0	貴船	0
FP	福田	0	柏崎	0
計		35		23
PT		(0)		(1)

〔審・清水 岡本〕

女子

▼1回戦

境（鳥取） 19 （7－5 12－8） 13 佐世保北（長崎）

○…両校共に試合開始よりプレーに堅さがあり、前半はその差がスコアになって現われた。特に佐世保北は、ミスが多く、それが境のチャンスとなり、阿部、川端等がポストプレー、カットインプレーにより得点した。後半に入り、境は俵の連続ミドル、そして野津のフェイントからのシュートなどで加点。佐世保北は相変わらずプレーが堅く凡ミスが目立った。佐世保北にとっては、前半にペナルティーチャンスを落とし先手を取れなく、波に乗れなかったことが敗因となった。（田嶋）

	〔佐世保〕	得
GK	平原	0
FP	池田	4
	阿部	2
	樫山	2
	新良	2
	田中	2
	金氏	1
	益田	0
	黒岩	0
	長嶋	0
	森宗	0
PT	(1)	13

	〔境〕	得
GK	渡辺	0
	角	0
FP	阿部	7
	浜田	2
	坂根	0
	高島	3
	俵	2
	川端	2
	野津	3
	大倉	0
	仲元	0
	佐々木	0
PT	(0)	19

（審・後藤、大塚）

京都女（京都） 19 （11－7 8－7） 14 盛岡二（岩手）

○…試合立ち上がり、両チームとも攻撃にもう一歩動きが見られず攻めあぐんでいたが、盛岡の外館のロングシュートが口火を切ってから得点の取り合いになった。一方、京都女は木田のロングシュート、カットインシュートや、ボールカットからの速攻をかけるが盛岡・西川の好キーピングによりなかなか点差を広げることが出来ずに前半が終了する。後半は両チームとも動きが出始め、盛岡はセットからの攻撃、京都女は速攻での得点と点を重ね、西川のカットインシュートも加わり盛岡をつき放した。後半の動きがものを言うゲームであった。（高田）

	〔盛岡二〕	得
GK	西川	0
	島田	0
FP	高森	1
	遠藤	0
	外舘	9
	兼平	0
	鈴木	0
	藤島	2
	杉沢	2
	片岸	0
	沢田	0
	熊谷	0
PT	(3)	14

	〔京都女〕	得
GK	西田	0
	糸井	0
FP	小林	1
	中本	0
	蔀	2
	笹川	7
	中川	2
	本田	6
	島津	0
	園田	1
	中西	0
	井上	0
PT	(3)	19

（審・川島、森）

浦和実（埼玉） 11 （5－5 6－4） 9 牧園（鹿児島）

○…前半30秒、牧園ステップシュートで点を取り一気にいくかに見えたが、浦和実も4分頃からポスト、サイドシュートで点を取る。13分頃牧園は、相手反則からのPTで点を取り20分には速攻を決め逆転するが、22分浦和実もPTで追いつき5－5の同点で終わる。後半浦和実は、10分までに3点をあげたが牧園も点を取り追いかけた。浦和実21分ロングシュート、23分サイドシュートを決め逃げ切った。暑さのせいか両チーム共動きが今一つ悪かったようだ。（九田）

	〔牧園〕	得
GK	野元	0
	川島	0
FP	東郷	4
	境田	0
	崎元	1
	川西	2
	簗瀬	0
	倉田	2
	蜂須賀	0
	池田	0
	内田	0
	吉森	0
PT	(3)	9

	〔浦和実〕	得
GK	池田	0
	川崎	0
FP	山口	1
	清水	0
	増渕	6
	星野	1
	平野	1
	槌	0
	人見	2
	新木	0
	土屋	0
	卜部	0
PT	(3)	11

（審・吉田、川合）

仁愛女（福井） 25 （14－5 11－3） 8 富岡東（徳島）

○…ゲーム開始から仁愛は、速攻を中心に一方的なペース展開で8連続得点、勝負を決した。富岡の初得点は前半19分。その後は散発的に反撃したが結局、立ち上がりの失点があまりに大きく、ゲームを覆えすところまでは至らなかった。もう少し基本的なプレーの熟練が望まれるところ。一方、勝利を得た仁愛も更に勝ちぬく為には、攻撃のコンビネーションにひと工夫ほしい。（岡本）

	〔富岡東〕	得
GK	島	0
	辻	0
FP	浜	6
	生田	0
	板東	0
	秋田	0
	美田	0
	福田	1
	真崎	0
	佐川	1
	丸山	0
	藤田	0
PT	(0)	8

	〔仁愛女〕	得
GK	由川	0
	酒井	0
FP	柚木	1
	野尻	0
	藤田	2
	戸田	0
	北川	8
	松田	4
	牧野	3
	駒野	4
	中村	2
	中宮	1
PT	(2)	25

（審・阿部羅、中田）

松江市女（島根） 16 （8－3 8－9） 12 夙川学院（兵庫）

○…前半立ち上がりPT、速攻、フリースローで連続得点した松江が、試合のリズムをつかみ優位に立った。一方夙川は、9分のPTまで無得点と攻守ともに動きが悪い。10分過ぎから夙川に速攻が出始めたが、松江のフリースローからのフォーメーションプレーが面白いように決まる。後半に入って夙川も速攻で追いすがるが、松江が前半の差を守ってふり切った。（西沢）

	〔夙川〕	得
GK	中川	0
	北山	0
FP	真鍋	1
	塩崎	5
	松田	2
	高木	0
	長村	1
	前川	1
	森下	0
	小沼	0
	西村	2
	田中	0
PT	(3)	12

	〔松江市女〕	得
GK	木下	0
	金津洋	0
FP	宅和	4
	安島	1
	花田	1
	稲田	3
	田村	0
	奥田	7
	松本	0
	山田	0
	菅田	0
	金津美	0
PT	(3)	16

（審・古富、赤地）

日川（山梨） 17 （11－5 6－8） 13 大曲農（秋田）

○…前半、両校共チャンスがありながらなかなか得点出来なかったが、シュート力に勝る日川が、カットイン、ポストプレーを多用して11－5で前半を終了した。大曲農は、ノーマークのチャンスにキャッチミス、シュートミスをしたのが痛かった。後半、ようやく大曲農もエンジンがかかりロングシュートの打ち合いとなったが、地力に勝る日川が17－13で大曲農をふり切った。（中村）

	〔大曲農〕	得
GK	大山	0
	加賀	0
FP	高田	4
	新田	6
	鈴木	2
	三浦	1
	青谷	0
	佐藤	0
	星宮	0
	千田	0
	畑山	0
	松塚	0
PT	(2)	13

	〔日川〕	得
GK	後藤	0
	千葉	0
FP	鮎沢	4
	高橋	2
	石田	0
	土屋	2
	古屋	7
	井戸	0
	望月	0
	雨宮	0
	久保川	0
	中沢	2
PT	(2)	17

（審・大橋、久保田）

本巣（岐阜） 17 （5－10 8－3 2－0 1－0） 13 神埼農（佐賀）

○…開始3分、神埼農は森山のカットインで先制。本巣も4分、フリースローからブロックプレーが決まり同点。その後両チーム共得点を重ねたが、やや動きに優れた神埼農が5点リードして前半を終了。後半に入って神埼農の動きが止まり、本巣がサイド、速攻などで追撃、23分同点に追いつき延長に入る。動きの良くなった本巣が、延長に入ってサイド、PTと得点をあげて逆転勝ちを飾った。（中根）

	〔神埼農〕	得
GK	井手	0
	江頭	0
FP	野口	0
	星子	1
	金山	3
	井山	0
	森山	5
	江口	2
	野中	1
	伊東	1
	平方	0
	船津	0
PT	(1)	13

	〔本巣〕	得
GK	汲田	0
	杉山	0
FP	梶野	5
	若山	5
	馬渕	2
	高橋	0
	古田	0
	青山	2
	大井	0
	鷲見	2
	加納	0
	田中	0
PT	(2)	16

（審・旅、田島）

高松商 18（8－8、10－7）15 有磯
（香川）　　　　　　　　（富山）

○…立ち上がりこそ固さの目立った両チームだが、1点づつ取り合った後は、ポストを合わせたスピードあるボール回し、カットイン、速攻ときびきびした動きで内容の濃いゲームを展開、前半を8－8の同点で終わる。後半、高松商のディフェンスの読み、動きが良くなり、有磯のセット攻撃をよく防いだ。一方有磯は、高松商・原田にマンツーマンをかけ一時は成功したが長くは続かず、高松商のサイド、ミドルなどで逆に差を開かれ、追いつけなかった。（森）

〔有磯〕

	選手	得
GK	北山	0
GK	坂	0
FP	谷内	0
FP	飯山	2
FP	小久保	1
FP	庄司	6
FP	中橋	2
FP	中村	1
FP	谷内	0
FP	道渕	3
FP	向柴	0
FP	野畑	0
PT	(6)	15

（審・高田　村谷）

〔高松商〕

	選手	得
GK	真鍋	0
GK	鎌田	0
FP	高藤	0
FP	桃本	4
FP	原田	5
FP	福崎	0
FP	川田	2
FP	赤根	0
FP	橘	0
FP	佐伯	3
FP	佐々木	0
FP	木村	4
PT	(1)	18

国学院栃木 20（10－10、10－4）14 暁
（栃木）　　　　　　　　（三重）

○…両チーム元気あふれる同じようなチーム。攻撃もポスト、ミドル、サイドシュートと前半は10－10で折り返す。後半に入っても同じような展開。しかし、13分頃から暁に攻守に雑な一面が、またPTも得点出来ず、リズムが単調になり15分頃から一方的なゲームになった。（志々場）

〔暁〕

	選手	得
GK	野島	0
GK	片岡	0
FP	野田	2
FP	小林	3
FP	早川	0
FP	前田	1
FP	小田川	3
FP	菊川	0
FP	永峰	5
FP	中田	0
FP	矢野	0
FP	三宅	0
PT	(1)	14

（審・伊藤　九田）

〔国学院〕

	選手	得
GK	佐藤	0
GK	相田	0
FP	大間	3
FP	臼井	0
FP	新井	4
FP	岡田	3
FP	伊東	2
FP	平野	1
FP	袖長	3
FP	小島	3
FP	川田	0
FP	吉野	1
PT	(1)	20

大分東 23（9－8、14－9）17 今治南
（大分）　　　　　　　　（愛媛）

○…速攻の今治南に対してセットオフェンスの大分東は多彩な攻撃で得点をあげるが、簡単なミスで今治南に追い上げられ、接戦の連続であった。後半、大分東は確実に1点づつ得点し、今治南の追撃をかわした。（半田）

〔今治南〕

	選手	得
GK	馬越	0
GK	関野	0
FP	岩見	2
FP	宮武	0
FP	岸下	1
FP	松浦	4
FP	吉本	8
FP	長谷部	2
FP	渡辺	0
FP	越智美	0
FP	村上	0
FP	越智温	0
PT	(2)	17

（審・岡本　清水）

〔大分東〕

	選手	得
GK	大村	0
GK	赤羽	0
FP	太田	0
FP	宮本	2
FP	工藤	3
FP	白井	5
FP	稲垣	2
FP	阿部	5
FP	堀	0
FP	深田	0
FP	木下	6
FP	白石	0
PT	(2)	23

コザ 29（13－5、16－11）16 日大山形
（沖縄）　　　　　　　　（山形）

○…前、後半を通じてコザの攻撃が相手チームをよく監察しながら余裕のあるプレーが多く得点を加えていく。一方、日大山形は少し緊張しており、動きが悪くフリースローからのプレーも生かされず敗退した。（井上）

〔日大山形〕

	選手	得
GK	佐川	0
GK	鈴木	0
FP	村上	2
FP	今野	4
FP	仲野	1
FP	菅原	0
FP	岡崎	9
FP	藤田	0
FP	梅木	0
FP	円野	0
FP	矢萩	0
FP	村岡	0
PT	(3)	16

（審・古富　赤地）

〔コザ〕

	選手	得
GK	比嘉真	0
GK	棚原	0
FP	東門	0
FP	香村	7
FP	仲宗根睦	5
FP	松田	2
FP	仲宗根裕	4
FP	比嘉晴	10
FP	大城	2
FP	知念	0
FP	島袋	0
FP	宮国	1
PT	(4)	29

水海道二 20（11－3、9－7）10 函館女商
（茨城）　　　　　　　　（北海道）

○…水海道二のGK近澤がよく守り、巧みなポストプレーで加点した。函館女商は、旅の疲れか今一つ元気がなく、終始圧倒されたゲーム展開であった。（佐野）

〔函館女商〕

	選手	得
GK	吉田	0
GK	川越	0
FP	佐藤敏	4
FP	新山	2
FP	秋田	3
FP	高松	0
FP	佐藤真	0
FP	福井	0
FP	鳥潟	1
FP	越後屋	0
FP	石戸	0
FP	高崎	0
PT	(2)	10

（審・大橋　久保田）

〔水海道二〕

	選手	得
GK	近澤	0
GK	小松崎	0
FP	遠藤	2
FP	磯山	3
FP	鈴木	4
FP	中屋敷	0
FP	山岸	1
FP	小沼	3
FP	小林	3
FP	田中	4
FP	鈴木	0
FP	高野	0
PT	(1)	20

山陽女 13（5－4、8－6）10 成美女
（広島）　　　　　　　　（神奈川）

○…前半3分過ぎ安部のロングで先取点を取った山陽女。しかし成美女も4分にポストシュートを決め、前半一進一退の攻防。5－4と山陽女一歩リードで始まった。後半2分、安部のロングで2点差とするが、成美女も5分増田のポストシュートでまたも1点差。その後19分まで1点差で食い下がっていた成美女だったが、20分、21分と山陽女に得点を許し差を3点とされた。その後両チーム得点したものの結局3点差で終了した。（後藤）

〔成美女〕

	選手	得
GK	斉藤	0
GK	藤崎	0
FP	樋渡	3
FP	伊藤	0
FP	功刀	0
FP	増田	2
FP	田中	0
FP	武田	0
FP	木島	0
FP	佐藤	1
FP	児王	4
PT	(4)	10

（審・中根　秋山）

〔山陽女〕

	選手	得
GK	久保	0
GK	小林	0
FP	安部	6
FP	古本	0
FP	田中	0
FP	川井	3
FP	森	1
FP	坂本	3
FP	橋本	0
FP	松前	0
FP	稲田	0
FP	谷口	0
PT	(1)	13

郡山女 19（12－5、7－6）11 粉河
（福島）　　　　　　　　（和歌山）

○…粉山・松下のステップで先行するが、郡山女も小川のカットインで得点をあげ5分まで一進一退をくり返したが、6分過ぎから郡山女が速攻、ロング、カットインと得点を重ね、粉河のミスにも助けられ12－5とリードして前半を終了。後半は郡山女、粉河共よく走りシュートを打つが、両チーム共決定的に欠ける。終盤、粉河も速攻、カットインで食い下がっ

〔粉河〕

	選手	得
GK	荊木	0
GK	藤平	0
FP	松下	2
FP	寿系	4
FP	小原	1
FP	木村	1
FP	佐古	0
FP	根来	1
FP	山崎	1
FP	阪口	0
FP	山本	0
FP	福島	1
PT	(2)	11

（審・村谷　高田）

〔郡山女〕

	選手	得
GK	浜尾	0
FP	小川	4
FP	高橋	4
FP	大和田	0
FP	宗像	0
FP	小林	4
FP	大河内	1
FP	吉田	3
FP	曽部	1
FP	梅津	0
FP	柳内	2
PT	(3)	19

たが、前半の差もあり郡山女が19—11で勝利をつかんだ。（宮沢）

熊本女商 31（20—1／11—5）6 高知西
（熊本）　（高知）

○…スピードとパワーに優れる熊本女商は、パスカットからの速攻と速いパスとスピードあるカットインで高知西の守備を破り、着々と加点し20—1で前半を終了。後半になって高知西は熊本女商のスピードに慣れ、5分まで2—2と善戦するも10分を過ぎると力の差が出て増々差が広がる。（吉田）

得	〔熊本女商〕		〔高知西〕	得
0	清田	GK	前田	0
0	平田		藤田	0
3	村橋	FP	門脇	0
3	村田		植村	2
2	中山		中沢	0
5	斉藤	（審・庄司 志々場）	谷本	3
1	田野辺		竹本	1
0	土本		土居	0
0	石井		藤原	0
8	河上		新居	0
6	酒井		藤崎	0
3	河野		谷岡	0
31	(0)	PT	(0)	6

吉井 16（10—2／6—5）7 青森西
（群馬）　（青森）

○…立ち上がりから吉井の堅い守りを青森西は攻めあぐみ、逆に吉井は速攻、小笠原のロングなどで着実に得点、10—2とリードして前半を終了。青森西にパス、キャッチのミスが目立ち、一生懸命追い上げるが今一つ流れを作りきれない要因となっている。後半だけを取り上げるならば、点差があったせいもあるが優劣がつけがたい。（阿部羅）

得	〔吉井〕		〔青森西〕	得
0	浅香	GK	保田	0
0	大沢		肴倉	0
8	佐藤容	FP	小笠原	1
1	松井		坂本	1
1	大塚		中嶋	2
0	田中	（審・菅野 半田）	奈良	2
3	青木		熊谷	0
2	中沢		高	1
0	吉田		宮崎	0
0	佐藤和		工藤	0
1	藤川		藤川	0
0	田村		小林	0
16	(1)	PT	(2)	7

▼2回戦

小松市女 22（11—0／11—4）4 松江市女
（石川）

○…スピード、パワーに勝る小松市女は、速攻、セットで着々と加点し、11—0で前半を終了。松江市女は、後半開始30秒にペナルティースローを決めたが、小松市女の守備陣型を崩すことが出来ずパスカット、キャッチミス、シュートミスからの速攻で着々と加点された。残の10分頃より動きが良くなり、ペナルティー、カットインで3点を取り、最後の頑張りを見せた。（吉田）

得	〔小松市女〕		〔松江市女〕	得
0	川北	GK	木下	0
0	木戸		金津洋	0
4	野田	FP	宅和	1
1	木村		安島	0
3	林		花田	0
7	松田	（審・後藤 大塚）	稲田	0
1	上田		田村	0
3	桜井		奥田	3
0	池田		松本	0
1	奥村		山田	0
2	千秋		菅田	0
0	今		金津美	0
22	(1)	PT	(2)	4

昭和学院 15（10—7／5—5）12 京都女
（千葉）

○…昭和がロング、サイドシュートで2点連取。6分過ぎまでにカットインからのずらし、ポストで加点し5—2とリード。その後攻撃が読まれ10分間得点がなく、19分に1点差に追い上げられた。一方京都女は、出足オーバーステップが多く、攻撃リズムがなく攻めあぐんだが、15分過ぎからパスカットからの速攻が決まりシーソーゲームとなる。後半も両チームリードの得点、追い上げ得点時にミスが出て拮抗した展開となる。（旅）

得	〔昭和〕		〔京都女〕	得
0	松丸	GK	西田	0
0	田村		糸井	0
4	藤原	FP	小林	3
0	村上		中本	0
0	伊原		部	0
0	座間	（審・川島 森）	笹川	3
0	高柳も		中川	0
0	宮内		本田	3
1	高柳ふ		島津	0
1	神谷		岡田	3
6	石毛		中西	0
3	岡村		内海	0
15	(1)	PT	(2)	12

浦和実 19（11—3／8—6）9 総社
（岡山）

○…開始4分過ぎまで総社ディフェンスが緊張気味で足の止まったスキに浦和実が4点を連取、リズムに乗った。総社は相手ディフェンスを崩すことが出来ず、単発的な得点にとどまり、前半は11—3と浦和実の一方的なリードで終了。後半に入り総社もよく頑張り互角の状況となったが前半の差が大きく、逆転出来るまでには至らなかった。（秋山）

得	〔浦和実〕		〔総社〕	得
0	池田	GK	大角	0
0	川崎			
4	山口	FP	仲井	6
1	清水		上村	0
7	増渕		平田	0
0	星野	（審・高田 村谷）	草野	0
2	平野		小野	0
0	槌		白木	1
5	人見		小西	2
0	新木		田中	0
0	土屋		長門	0
0	卜部		藤本	0
19	(6)	PT	(1)	9

涌谷 13（7—3／6—7）10 仁愛女
（宮城）

○…ポストを上手に使った涌谷が前半のリードを守って勝利を収めた。前半、仁愛女のミスが多く涌谷に思わぬ差を許してしまった。後半は北側のステップシュートなどで追い上げたが、前半の差をつめることは出来なかった。仁愛女が涌谷に与えた6本のPTが勝負を決めたと言える。（清水）

得	〔涌谷〕		〔仁愛女〕	得
0	明石	GK	由川	0
0	小田嶋		酒井	0
0	堀口	FP	柚木	0
0	杉山		野尻	0
2	金澤		藤田	2
2	武山	（審・西沢 辻）	戸田	0
2	道渕		北川	4
2	鈴木		松田	1
1	荒井		牧野	0
4	乃川		駒野	2
0	本間		中村	0
0	熱海		中宮	1
13	(6)	PT	(1)	10

日川 23（12—6／11—7）13 小林商
（宮崎）

○…前半、中沢の速攻、望月、古谷のロングシュートなどで加点する日川に対して、小林商もサイド、ポストシュートなどで対抗するが、パスワーク、脚力に勝る日川がじりじりと差を広げ前半を終了。後半、カットインシュート、ポストプレー、及びPTで追いすがる小林商に対して日川のGK後藤の堅守でふり切った。（村谷）

得	〔日川〕		〔小林商〕	得
0	後藤	GK	窪薗	0
0	千葉		北別府	0
1	鮎沢	FP	泉	0
7	高橋		中屋敷	1
0	石田		志布志	0
2	土屋	（審・阿部羅 中田）	福元	0
9	古屋		北野	2
0	井戸		岩本	1
1	望月		日楠	7
1	雨宮		脇田	2
0	久保川		今東	0
2	中沢		佐々木	0
23	(2)	PT	(2)	13

名短付 25（14—5／11—6）11 境
（愛知）

○…前半両チーム共ミスが多く10分過ぎまで動きの少ない展開だったが、13分過ぎより名短付の走りがつながりだし、伊豫田、那須の速攻で得点を重ね、14—5とリードして前半を終了。後半、境もロングを中心に反撃を試みるが、名短付の早いつめに攻めあぐみ、逆に速攻でリードを広げられ、15分過ぎには21—7と勝負を決定づけられた。（小林）

得	〔名短付〕		〔境〕	得
0	三浦葉	GK	渡部	0
0	村山		角	0
0	安田	FP	阿部	4
3	山下		浜田	0
4	三浦優		坂根	0
7	伊豫田	（審・佐野 中村）	高島	1
2	村上		俵	2
1	河淵		川端	3
0	丹羽		野津	1
0	栗田		大倉	0
3	那須		仲元	0
5	岩野		佐々木	0
25	(6)	PT	(2)	11

本巣 10（5—5／5—4）9 彦根商
（滋賀）

○…両チーム攻撃に精彩なく、ミスが目立つ前半は5—5の互角。後半に入っても互いに一歩も譲らない展開となったが、20分過ぎ本巣は速攻を決め一歩リード。そのまま守りきり終了の笛を聞いた。彦根商は、再三の得点チャンスをミスでつぶし、勝ちをものにすることが出来なかった。（後藤）

得	〔本巣〕		〔彦根商〕	得
0	汲田	GK	北川幸	0
0	杉山		田中	0
4	梶野	FP	長屋	2
0	若山		中西	2
0	馬渕		木瀬	1
0	高橋	（審・古富・赤地）	鳥田	0
0	古田		松宮	2
4	青山		松田	0
1	大井		大矢	0
1	鶯見		又川	2
0	加納		北川裕	0
0	田中		瀧	0
10	(3)	PT	(3)	9

藤村女 15 〔10—5 5—6〕 11 高松商
（東京）

○…10分過ぎまでは互いに点を取り合い4—3と藤村女がリード。その直後から藤村女は高松商のミスから速攻、PTなどで5点連取し、ゲームの主導権を取り10—5で前半を終わる。後半に入って高松商のディフェンスが良くなり藤村女のパス、シュートのカットからの速攻などで反撃、3点差までつめたがシュートに決め手がなく、藤村女GKの好キープもあり藤村女が逃げ切った。（森）

得	〔藤村女〕		〔高松商〕	得
0	田口	GK	真鍋	0
0	市川		鎌田	0
4	大高	FP	高藤	2
1	佐藤		桃本	3
2	川上		原田	3
2	佐伯	（審・伊藤・九田）	福崎	0
1	羽鳥		川田	0
2	斉藤		赤根	0
0	阿保		橘	0
0	石原		佐伯	2
0	山本		佐々木	1
3	田鹿		木村	0
15	(2)	PT	(0)	11

四天王寺 20 〔10—9 10—8〕 17 国学院栃木
（大阪）

○…開始直後から両チーム共にオフェンス、ディフェンスにおいても動きも良く、ボールが回り素晴しいゲーム展開になった。後半も同じく1点を取り合う好ゲームとなったが、終了5分前からの四天王寺・鹿島のロングシュートと牧村の速攻によって3点差となり逃げ切った。（高田）

得	〔四天王寺〕		〔国学院〕	得
0	岡本	GK	佐藤	0
0	味志		相田	0
6	市来	FP	大間	3
1	奥本		臼井	0
0	岸上		新井	5
3	白鳥	（審・中根・秋山）	岡田	3
0	中谷		伊藤	1
7	牧村		平野	0
0	岡村		袖長	3
2	鹿島		小島	2
1	篠原		川田	0
0	中筋		吉野	0
20	(0)	PT	(1)	17

熊毛北 29 〔13—4 16—8〕 12 大分東
（山口）

○…開始直後両チーム共きびきびした動きで好ゲームが期待されたが、5分過ぎから相手ミスを速攻に結びつけた熊毛北が着々と加点し13—4と大差をつけて折り返した。後半に入って、大分東は熊毛北・渡辺にマンツーマンに出たが、動きの鋭い熊毛北は苦にせず加点し、安定したディフェンスも合わせ一方的に突き放した。（西沢）

得	〔熊毛北〕		〔大分東〕	得
0	中川	GK	大村	0
0	平山		赤田	0
2	藤村	FP	太田	0
5	倉益		宮本	1
4	渡辺		工藤	3
2	梅田	（審・志々場・庄司）	白井	3
1	三牧		稲垣	0
0	時繁		阿部	3
5	宮本		堀	0
8	河村		深田	0
1	藤原		木下	2
1	戸倉		白石	0
29	(0)	PT	(2)	12

コザ 18 〔7—7 11—8〕 15 添上
（奈良）

○…前半、添上はボール回しからのシュートがよく決まりリードするが、徐々にコザがロング、ポストからのシュートで追い上げ同点とする。後半、コザは比嘉のシュートがよく決まりリード。添上もよく頑張るが追いつくことが出来なかった。（井上）

得	〔コザ〕		〔添上〕	得
0	比嘉真	GK	中谷	0
0	棚原		萩原	0
2	香村	FP	松下	4
0	仲宗根睦		松崎	9
3	松田		窪田	0
1	仲宗根裕	（審・中村・佐野）	藪中	1
11	比嘉晴		森川	0
0	大城		東川	1
0	知念		角井	1
0	島袋		木村	0
1	宮国		松村	0
0	新垣		徳田	0
18	(2)	PT	(1)	15

水海道二 18 〔8—4 10—3〕 7 新潟江南
（新潟）

○…前半、両チーム共動きが悪く攻撃も単調な中央からのロング、ポストのくり返しであった。後半水海道二は江南のパスを読み、カットから速攻による楽なポイントをあげ点差を大きくした。（久保田）

得	〔水海道二〕		〔新潟江南〕	得
0	近澤	GK	加藤	0
0	小松崎			
0	遠藤	FP	佐藤	0
5	磯山		河村	0
1	鈴木恵		渡部	0
0	中屋敷	（審・中田・阿部羅）	清水	0
4	山岸		藤塚	6
6	小沼		榎並	1
2	小林		阿部	0
0	田中		伊藤	0
0	鈴木理		古泉	0
0	林		神丸	0
18	(7)	PT	(0)	7

山陽女 27 〔12—5 15—4〕 9 佐久
（長野）

○…前半10分までは4—4と佐久も吉田のカットインなどで健闘したが、その後佐久はパスミスなど凡ミスが続き、山陽女は速攻で着実に加点、さらに安部のロングシュートも決まり出し、12—5と7点を山陽女がリードして前半を終了。

後半に入っても、山陽女はよく走り、疲れの見えてきた佐久に圧勝した。（赤地）

得	〔山陽女〕		〔佐久〕	得
0	久保	GK	井出聡	0
0	小林		角田	0
11	安部	FP	吉田	6
3	古本		関口	1
1	田中		西島	0
4	川井	（審・吉田・川合）	工藤	2
4	森		井出竹	0
4	坂本		戸塚	0
0	橋本		北沢	0
0	松前		藤巻	0
0	稲田			
0	谷口			
27	(9)	PT	(2)	9

筑紫女 18 〔8—6 10—6〕 12 郡山女
（福岡）

○…前半は筑紫3点連取、それに対して郡山4点連取、次に筑紫4点連取、郡山2点連取というように、波がチームごとに変わる戦いであった。後半、郡山が4分に同点に追いつき、その後1点差を争うゲームが続いたが、中盤動きが悪くなった郡山に比べ筑紫スピードがあり、8点連取して試合をものにした。（九田）

得	〔筑紫女〕		〔郡山女〕	得
0	肥川	GK	浜尾	0
0	池田	GK	小川	0
0	吉村	FP	高橋	7
3	高原	FP	大和田	1
4	小田	FP	宗像	1
1	吉岡	FP	小林	1
1	南里	FP	大河内	0
5	横瀬	FP	吉田	0
3	藤	FP	曽部	2
1	青柳	FP	梅津	0
0	柴田	FP	柳内	0
0	山元	FP		
18	(1)	PT	(1)	12

（審・田嶋 旅）

熊本女商17〔8－3 / 9－8〕11 静岡城北（静岡）

○…熊本は前、後半を通してディフェンス、オフェンス共に好調で、サウスポーの斎藤のロングシュート、斎藤からのパスによるシュートで確実に点を積み重ねていった。一方静岡城北はペナルティースローは取るもののGKに好守されたり思うようにディフェンスをかわすことが出来ず、得点をあげることが出来なかった。後半20分過ぎから静岡城北の速攻による追い上げがあったが、前半の得点差は大きかった。（高田）

得	〔熊本女商〕		〔静岡城北〕	得
0	清田	GK	永野	0
0	平田	GK	高原	0
0	村橋	FP	鈴木	3
1	林田	FP	大坪	0
2	中山	FP	増田	1
10	斉藤	FP	山本	3
0	田野辺	FP	大橋	0
0	土本	FP	杉山	1
0	石井	FP	鷲巣	0
2	河上	FP	酒井	0
2	酒井	FP	朝比	3
0	内田	FP	山内	0
17	(0)	PT	(2)	11

（審・秋山 中根）

小松商 20〔11－9 / 9－6〕15 吉井（石川）

○…前半2分、吉井・青木のロングシュート、4分大塚のサイドシュートで2－0と吉井のリード。その後小松商はPTで1点は取ったものの11分過ぎまで5－1と吉井の一方的なゲーム展開かと思われたが、12分過ぎから小松商が速攻、サイドシュートなどで加点し前半11－9と小松商のリードで終わる。後半吉井が1点差につめたが、その後は小松商が3～4点のリードを保ち20－15で終了。（庄司）

得	〔小松商〕		〔吉井〕	得
0	吉田	GK	浅香	0
0	向出	GK	大沢	0
6	池田	FP	佐藤容	8
4	北本	FP	松井	1
0	木村	FP	大塚	1
0	村田	FP	田中	1
1	千代	FP	清水	3
2	高比	FP	中沢	0
0	谷口	FP	吉田	0
0	森	FP	佐藤和	0
3	北川	FP	藤川	1
4	東出	FP	田村	0
20	(5)	PT	(3)	15

（審・清水 岡本）

▼3回戦

名短付12〔6－3 / 6－6〕9 昭和学院

○…前半、昭和は名短付・山下をマンツーマンでマークしたが、名短付はロング、カットインとスピードあるプレーで加点。昭和もポストプレーを中心に反撃するが名短付の好ディフェンスに阻まれた。後半、昭和は岡村を中心によく反撃し1点差まで追い上げたが、名短付の走りが昭和を下した。両チーム共よく走り、好プレーあり、迫力のある試合であった。（久保田）

得	〔名短付〕		〔昭和〕	得
0	三浦葉	GK	松丸	0
0	村山	GK	田村	0
2	安田	FP	藤原	0
2	山下	FP	村上	0
1	三浦優	FP	座間	0
4	伊豫田	FP	高柳も	0
0	村下	FP	宮内	0
0	河淵	FP	高柳ふ	0
0	丹羽	FP	小林	1
0	栗田	FP	神谷	0
2	那須	FP	石毛	2
1	岩野	FP	岡村	6
12	(1)	PT	(3)	9

（審・九田 伊藤）

浦和実18〔7－2 / 11－4〕6 涌谷

○…前半5分、ようやく1点を先取した浦和実は、その後も速攻やポストプレーで加点し7点を連取した。涌谷は守りが荒くなり、退場者があいつぎ苦しいゲーム展開となった。22分過ぎようやく2点を取るにとどまった。後半に入っても浦和実は相手ディフェンスのミスをつきペナルティスロー4本を決め、涌谷に快勝した。（佐野）

得	〔浦和実〕		〔涌谷〕	得
0	池田	GK	明石	0
0	川崎	GK	小田嶋	0
1	山口	FP	堀口	0
1	清水	FP	杉山	0
6	増渕	FP	金澤	0
3	星野	FP	武山	4
1	平野	FP	道渕	1
0	槌	FP	鈴木	0
6	人見	FP	荒井	0
0	新木	FP	及川	1
0	土屋	FP	本間	0
0	下部	FP	熱海	0
18	(6)	PT	(1)	6

（審・赤地 古富）

小松市女18〔6－2 / 12－4〕6 日川

○…前半、小松市女・林、松田と日川・高橋、土屋のロングシュートの打ち合いで試合が進む。その後、日川の退場中のチャンスを生かし、サイド、ポストで得点をあげた小松市女が4点リードして前半を終了。後半、小松市女は日川のミスから速攻、カットインなどで3点連取。日川もロングで1点を返すが、その後足の動きディフェンスした小松市女のディフェンスを攻めあぐみ逆速攻を受け、15分過ぎには16－4と勝負を決定づけられた。日川も最後まで食い下がったが、痛いところでシュートミスがあり走力に勝る小松市女を崩しきれなかった。（宮沢）

得	〔小松市女〕		〔日川〕	得
0	川北	GK	後藤	0
0	木戸	GK	千葉	0
3	野田	FP	鮎沢	1
2	木村	FP	高橋	1
3	林	FP	石田	0
5	松田	FP	土屋	2
0	上田	FP	古屋	2
3	桜井	FP	井戸	0
0	池田	FP	望月	0
1	奥村	FP	河野	0
1	千秋	FP	雨宮	0
0	今	FP	中沢	0
18	(2)	PT	(0)	6

（審・川合 吉田）

本巣16〔7－6 / 9－8〕14 藤村女

○…藤村・佐藤、本巣・佐野を中心とした同タイプのチーム同士の一戦となった。互いによく走り1点を争う好ゲームとなったが、ディフェンス力に勝る本巣がセットでよく守ったのに対し藤村女は本巣のローリングオフェンスに的が絞れず退場者が続出した。結局この差が勝敗を分けたと言えよう。（西沢）

得	〔本巣〕		〔藤村女〕	得
0	汲田	GK	田口	0
0	杉山	GK	市川	0
4	梶野	FP	大高	3
7	若山	FP	佐藤	2
0	馬渕	FP	川上	1
0	高橋	FP	佐伯	1
0	古田	FP	羽鳥	3
3	青山	FP	斉藤	0
0	大井	FP	阿保	0
2	鷲見	FP	石原	1
0	加納	FP	田鹿	3
0	田中	FP	井出	0
16	(3)	PT	(3)	14

（審・高田 阿部羅）

四天王寺26〔12－10 / 8－10 / 3－1 / 3－2〕23 熊毛北

○…前半立ち上がりスピードとシュート力に勝る四天王寺がリードするが、10分頃から熊毛北も動きが良くなりシュートが決まり出す。17分頃から熊毛北は四天王寺

得	〔四天王寺〕		〔熊毛北〕	得
0	岡本	GK	中川	0
0	味志	GK	平山	0
7	市来	FP	藤村	2
0	奥本	FP	倉益	2
0	岸上	FP	渡辺	16
6	白鳥	FP	梅田	1
0	中谷	FP	三牧	0
6	牧村	FP	西村	0
3	岡村	FP	宮本	2
0	鹿島	FP	河村	0
4	篠原	FP	藤原	0
0	中筋	FP	戸倉	0
26	(4)	PT	(8)	23

（審・久保田 大橋）

・白鳥につく作戦に出て前半12—10と四天王寺の2点リードで終わる。後半も熊毛北は白鳥へのマンツーを続け、ゲームは取りつ取られつの戦いであったが、17分に遂に熊毛北が同点に追いつき延長にもつれこんだ。

延長に入って四天王寺は牧村のシュートと相手ミスからの速攻で熊毛北をふり切った。（九田）

水海道二18（5—6、13—9）15コザ

○…水海道二は磯山、小沼を中心としたロング攻撃、コザは香村、比嘉を中心としたテクニックのチーム。前半はコザがのびのびとプレー、動きの悪い水海道二を6—5とリードして前半を終了。後半に入り、水海道二も速攻が決まり出し終始リードを奪い、20分に14—14と粘られたものの18—15と3点差でふり切った。（赤地）

	〔コザ〕	得	〔水海道二〕	得
GK	比嘉真	0	近澤	0
	棚原	0	小松崎	0
FP	香村	1	遠藤	2
	仲宗根[illegible]	0	磯山	5
	松田	1	鈴木恵	3
	仲宗根[illegible]	3	中屋敷	0
	比嘉晴	8	山岸	3
	大城	0	小沼	3
	知念	0	小林	0
	島袋	0	小田中	2
	宮国	2	鈴木理	0
	新垣	0	三輪	0
PT		(2)		(3)
		15		18

（審・中村、佐野）

山陽女23（10—3、13—8）11筑紫女

○…山陽女は安部のロングをはじめカットイン、ポスト、速攻と多彩な攻撃で前半10得点をあげた。対する筑紫女は立ち上がりからミスが目立ち、ポストプレーとカットインプレーによる得点にとどまってハーフタイム。後半に入っても山陽女の攻撃はとどまることなくGK小林の好守からくり出す速攻は迫力があった。一方の筑紫女は頼みのポストプレーが山陽ディフェンスに読まれるようになり展開を苦しくした。（川合）

	〔筑紫女〕	得	〔山陽女〕	得
GK	肥川	0	久保	0
	池田	0	小林	0
FP	吉村	0	安部	10
	高原	0	吉本	1
	小田	2	田中	2
	吉岡	1	川井	4
	南里	0	森	4
	横瀬	5	坂本	2
	藤	3	橋本	0
	青柳	0	松前	0
	柴田	0	稲田	0
	山元	0	谷口	0
PT		(2)		(2)
		11		23

（審・小宮、林沢）

小松商14（9—6、5—7）13熊本女商

○…両チーム共少し動きが固く最後のつめが悪いためペナルティーの応酬となり、15分までに小松商3—2。7分には小松商・池田がカットインから飛び込み4—2。この頃から動きが良くなり、両チーム果敢に攻めるが、それぞれGKが好守を見せペースをつかみきるまでに至らず小松商9—6で前半を終わる。後半、熊本の長身の左きき・斎藤を生かした攻めを組み立て、10分には8—9と1点差につめ寄る。15分には中山のロングで10—10の同点。熊本は斎藤からポストへ落とすプレーで、小松商はカットインプレーと一進一退の攻防で24分13—13。24分30秒、小松商・千代のロングシュートがディフェンスに当たり方向が変わって得点、結局逃げ切った。白熱した試合であった。（　）

	〔熊本女商〕	得	〔小松商〕	得
GK	清田	0	吉田	0
	平田	0	向出	0
FP	村橋	0	池田	6
	林田	0	北本	1
	中山	4	木村	0
	斉藤	7	村田	0
	田野辺	0	千代	3
	土本	0	高地	0
	河上	1	谷口	0
	酒井	1	森	0
	河野	0	北川	0
	内田	0	東出	4
PT		(2)		(6)
		13		14

（審・西沢、辻）

▼4回戦

浦和実15（7—7、8—7）14名短付

○…名短付は開始15秒、三浦のロングシュートが決まり好調な立ち上がりをした。一方、浦和実は増渕の巧みなパスワークでディフェンスを引きつけ、ポストへ、サイドへと好配球をし得点に結びつけ、前半7—7の同点で終了。浦和実はサイドのループ、飛び込みが決まり、11分には13—7と5点リード。名短付も必死に追い上げ、22分には13—14と1点差までつめたが、23分には浦和実のサイドシュートが決まり勝敗を決した。両チーム共チームの特色を発揮した好試合であった。（吉田）

選抜優勝の名短付は浦和実にせり負け

	〔名短付〕	得	〔浦和実〕	得
GK	三浦葉	0	池田	0
	村山	0	川崎	0
FP	安田	2	山口	3
	山下	3	清水	0
	三浦優	5	増渕	4
	伊豫田	2	星野	4
	村上	0	平野	2
	河淵	1	槌	0
	丹羽	0	人見	2
	栗田	0	新木	0
	那須	1	土屋	0
	岩野	0	下部	0
PT		(0)		(0)
		14		15

（審・井島、上崎）

小松市女21（10—2、11—4）6本巣

○…両チーム共開始から動きが悪くやっと6分、小松市女のエース・林のロングシュートが決まり先取点をあげる。本巣も必死に走り回るが、小松市女のディフェンスを破ることが出来ず19分間無得点。その後速攻から得点をあげ調子に乗ることが出来ず、前半を終

	〔本巣〕	得	〔小松市女〕	得
GK	汲田	0	川北	0
	杉山	0	木戸	0
FP	梶野	1	野田	1
	若山	2	木村	2
	馬渕	1	林	9
	高橋	0	松田	5
	古田	0	上田	0
	青山	1	桜井	2
	大井	1	池田	0
	鷲見	0	奥村	1
	加納	0	千秋	0
	田中	0	今	1
PT		(0)		(2)
		6		21

（審・川島、森）

って8点差で小松市女がリード。後半に入って15分過ぎまで本巣のペースで進んだが、3名の退場者が出てさらに小松市女が得点を重ね勝利を得た。（中根）

四天王寺23〔13—3／10—8〕11水海道二

○…開始9分で水海道二は相手ディフェンスのカットミスのサイドから得点したが、リードしている四天王寺はさらにサイド、ポスト、ステップシュートと幅の広い攻撃をくり広げ、確実に得点を積み重ねて前半13—3と大きく突き放してしまった。後半に入って水海道二が前半には見られない早い動きが出て小沼のシュート、磯山、遠藤がよく決め、またフェイントからPTを誘うような力のある動きが出て来たが、四天王寺のスピードには一段差があったように見えた。（伊藤）

	水海道二	得	四天王寺	得
GK	近澤	0	岡本	0
	小松崎	0	味志	0
FP	遠藤	3	市来	2
	磯崎	5	奥本	1
	鈴木恵	1	岸上	0
	中屋敷	0	白島	7
	山岸	0	中谷	0
	小沼	1	牧村	3
	小林	0	岡村	1
	田中	0	鹿島	2
	鈴木理	1	篠原	7
	三輪	0	中筋	0
		11		23
PT		(3)		(1)

（審・吉田 川合）

小松商15〔6—7／9—4〕11山陽女

○…1分、小松商・池田のステップシュートで先制。山陽女もいつものスピーディな攻撃をかけ、ようやく5分安部のロングシュートで同点とする。その後両チームGKの守備に助けられ12分過ぎまで1—1であったが、小松商・北川のフェイントカットイン、山陽女・川井のサイドシュートと一進一退の攻防で前半を終了。後半に入ってもゲーム展開は変わらず、19分過ぎ小松商・池田がPT、20分千代がポスト、21分北本のシュートと連続3点を取り勝利を決定づけた。（川島）

	山陽女	得	小松商	得
GK	久保	0	吉田	0
	小林	0	向出	0
FP	安部	3	池田	5
	古本	0	北本	2
	田中	2	木村	0
	川井	4	村田	0
	森	0	千代	1
	坂本	2	高地	1
	橋本	0	谷口	0
	松前	0	森	0
	稲田	0	北川	2
	谷口	0	東出	4
		11		15
PT		(1)		(3)

（審・中根 秋山）

▼準決勝

小松市女18〔10—4／8—5〕9浦和実

○…小松市女はゲーム開始からよく動き、林、松田を軸に多彩な攻め、一方浦和実は、前日の疲れが残っているのか動きが鈍く、小松市女のディフェンスをなかなか切り崩せず、前半を10—4で折り返す。後半に入って息を吹き返した浦和実は、ディフェンスでの動きが良くなったが攻撃ではボール一つはずれる不運も何回かあり大量得点にならず、一方小松市女は、攻めあぐみながらも少ないチャンスを確実にものにし、18—9と勝利を手にした。（伊藤）

	浦和実	得	小松市女	得
GK	池田	0	川北	0
	川崎	0	木戸	0
FP	山口	1	野田	2
	清水	0	木村	2
	増渕	7	林	6
	星野	0	松田	7
	平野	0	上田	0
	槌	0	桜井	0
	人見	1	池田	0
	新木	0	奥村	1
	土屋	0	千秋	0
	卜部	0	今	0
		9		18
PT		(0)		(0)

（審・島崎 井上）

四天王寺22〔13—3／9—6〕9小松商

○…四天王寺のスローオフで早いパス回しから小柄な篠原のミドルシュートが25秒で決まる。その後もサウスポー白島のステップシュート、牧村のサイドシュートなど1人1人個性のあるシュートで得点を重ねる。ディフェンスも軽いフットワークでいくつものパスカットも着実に得点に結びつけた。一方小松商は、四天王寺の堅いディフェンスが切り崩せず、何回となくパッシブプレーを重ねる。シュートも単調になり得点につながらない。後半に入って疲れの見えた相手ディフェンスのスキをつきよく健闘したが、前半の失点が大き過ぎた。（伊藤）

	小松商	得	四天王寺	得
GK	吉田	0	岡本	0
	向出	0	味志	0
FP	池田	3	市来	5
	北本	1	奥本	1
	木村	0	岸上	0
	村田	0	白島	6
	千代	2	中谷	0
	高地	0	牧村	6
	谷口	0	岡村	1
	森	0	鹿島	0
	北川	1	篠原	3
	乗出	2	樋下	0
		9		22
PT		(1)		(1)

（審・岡本 清水）

決勝の小松市女対四天王寺。四天王寺が先制したものの後半小松市女が引き離して勝つ

▼決勝

小松市女19〔9—7／10—4〕11四天王寺

○…四天王寺が主将・市来のシュートで先制、小松市女もすぐ松田がミドルシュートを決め追いつく。その後も小松市女は多彩な攻めを見せて4点連取。試合が一方的になるかに見えたが、四天王寺・白鳥を中心によく盛り返し勝負を後半に持ち越した。後半に入って両チームのGKが大活躍、全く点の入らない状態が長く続き警告者の重なっていた四天王寺ディフェンスから遂に退場者が2人連続出てしまった。このチャンスに小松市女が一気にたたみかけて優勝を不動のものとした。（伊藤）

	四天王寺	得	小松市女	得
GK	岡本	0	川北	0
	味志	0	木戸	0
FP	市来	4	野田	2
	奥本	0	木村	0
	岸上	0	林	8
	白島	3	松田	4
	中谷	0	上田	0
	牧村	2	桜井	3
	岡村	0	池田	0
	鹿島	1	奥村	2
	篠原	1	千秋	0
	中筋	0	今	0
		11		19
PT		(0)		(2)

（審・後藤 大塚）

各地の記録から…

第39回大阪府春季高校総体

◎東ブロック予選（4月21、28、29日、5月3～5日／寝屋川高、守口北高、春日丘高、摂津高）

〈男子〉

▼1回戦
寝屋川 25－5 茨木
高槻北 11－11 大東（2PTC1）
茨木東 30－9 門真
枚方 24－9 南寝屋川
淀川工 34－1 茨木工
牧野 19－15 守口北
西寝屋川 25－7 門真南
春日丘 20－16 島本
四条畷 24－11 関西大倉
長尾 26－8 城東工
摂津 32－7 同志社香里
交野 21－12 芥川
磯島 20－19 浪商
島上 30－5 鳥飼

▼2回戦
三島 30－11 寝屋川
高槻北 21－13 茨木東
淀川工 20－6 枚方
西寝屋川 38－13 牧野
春日丘 20－12 四条畷
摂津 15－11 長尾
磯島 27－12 交野
加納 27－10 島上

▼3回戦
三島 26－7 高槻北
淀川工 14－7 西寝屋川
摂津 29－7 春日丘
加納 22－16 磯島

▼4回戦
三島 24－15 淀川工
摂津 18－13 加納

▼決勝
三島 26－17 摂津

▼敗者1回戦
関西大倉 16－11 島本
同志社香里 19－18 城東工
浪商 25－12 芥川
大東 28－6 門真
南寝屋川 20－11 茨木工
門真南 20－13 守口北

▼敗者2回戦
寝屋川 27－11 関西大倉
同志社香里 31－11 茨木東
浪商 37－19 枚方
牧野 13－12 鳥飼
四条畷 25－16 茨木
長尾 27－10 大東
南寝屋川 12－10 交野
島上 11－11 門真南（2PTC1）

▼敗者3回戦
寝屋川 24－11 同志社香里
浪商 29－11 牧野
長尾 18－15 四条畷
南寝屋川 15－14 島上

▼敗者4回戦
寝屋川 26－16 西寝屋川
浪商 25－13 高槻北
磯島 14－14 長尾（1PTC0）
春日丘 24－5 南寝屋川

▼敗者5回戦
寝屋川 18－15 浪商
磯島 15－12 春日丘

▼敗者6回戦
加納 24－14 寝屋川
淀川工 11－10 磯島

▼4位決定戦
淀川工 13－13 加納（2PTC1）

▼2、3位決定戦
摂津 19－9 淀川工

〈女子〉

▼1回戦
門真 25－9 交野
春日丘 15－6 枚方
島本 17－13 三島

▼2回戦
南寝屋川 11－6 大東
茨木東 18－11 高槻北
西寝屋川 16－11 牧野
長尾 16－6 香里丘
摂津 25－11 門真
春日丘 24－5 守口北
寝屋川 19－9 芥川
東寝屋川 18－3 島本

▼3回戦
摂津 21－5 南寝屋川
春日丘 30－8 茨木東
西寝屋川 16－3 長尾
寝屋川 15－4 東寝屋川

▼4回戦
摂津 12－11 春日丘
寝屋川 15－12 西寝屋川

▼決勝
寝屋川 16－9 摂津

▼敗者1回戦
守口北 15－2 三島
香里丘 14－11 交野
枚方 13－7 芥川
門真 20－11 大東

▼敗者2回戦
守口北 12－5 高槻北
牧野 11－9 香里丘
枚方 21－3 島本
門真 12－5 茨木東

▼敗者3回戦
守口北 8－6 南寝屋川
牧野 15－6 東寝屋川
長尾 12－9 枚方

▼敗者4回戦
門真 8－6 守口北
牧野 11－9 長尾

▼敗者5回戦
西寝屋川 21－12 門真
春日丘 26－7 牧野

▼4位決定戦
春日丘 20－10 西寝屋川

▼2、3位決定戦
摂津 16－12 春日丘

◎南ブロック予選（4月21、28、29、3、5日／初芝高、高石高、上神谷高）

〈男子〉

▼1回戦
岸和田 19－7 堺工
和泉 22－11 堺西
泉大津 16－10 和泉工
泉北 22－13 泉鳥取
初芝 24－22 富田林
登美丘 21－13 岸和田産
信太 33－3 長野北
久米田 18－10 堺東

▼2回戦
高石 15－10 岸和田
商大堺 18－17 和泉
上神谷 20－18 泉大津
泉北 21－14 貝塚南
三国丘 25－13 初芝
登美丘 24－11 鳳
信太 24－15 金岡
泉陽 18－16 久米田

▼3回戦
高石 18－14 商大堺
泉北 22－14 上神谷
三国丘 18－10 登美丘
泉陽 26－14 信太

▼4回戦
高石 23－16 泉北
泉陽 15－14 三国丘

▼決勝
泉陽 15－9 高石

▼敗者1回戦
岸和田 17－9 富田林
和泉 20－16 岸和田産
泉大津 20－7 長野北
貝塚南 11－8 堺東
初芝 24－12 堺工
鳳 18－16 堺西
金岡 16－15 和泉工
久米田 18－14 泉鳥取

▼敗者2回戦
和泉 14－13 岸和田
貝塚南 20－15 泉大津
初芝 26－19 鳳
久米田 31－17 金岡

▼敗者3回戦
上神谷 15－11 和泉
商大堺 11－9 貝塚南
信太 23－16 初芝
登美丘 13－12 久米田

▼敗者4回戦
商大堺 18－9 上神谷
登美丘 26－15 信太

▼敗者5回戦
三国丘 15－11 商大堺
登美丘 21－20 泉北

▼4位決定戦
三国丘 16－12 登美丘

▼2、3位決定戦
三国丘 17－11 高石

〈女子〉

▼1回戦
和泉 22－6 岸和田
佐野 23－3 泉大津
東百舌鳥 12－10 信太

鳳 20－7 高石

▼2回戦

住吉学園 36－3 和泉
長野 25－3 堺東
岸和田産 25－5 上神谷
貝塚南 17－9 佐野
三国丘 18－11 東百舌鳥
泉鳥取 21－7 伯太
久米田 19－6 富田林
初芝 40－5 鳳

▼3回戦

住吉学園 38－2 長野
岸和田産 10－9 貝塚南
泉鳥取 11－10 三国丘
初芝 17－7 久米田

▼4回戦

住吉学園 34－3 岸和田産
初芝 25－10 泉鳥取

▼決勝

住吉学園 25－9 初芝

▼敗者1回戦

信太 20－5 堺東
高石 13－4 上神谷
岸和田 10－9 伯太
富田林 21－9 泉大津

▼敗者2回戦

和泉 14－6 信太
佐野 22－7 高石
東百舌鳥 16－4 岸和田
鳳 24－12 富田林

▼敗者3回戦

貝塚南 9－8 和泉
佐野 14－7 長野
久米田 23－8 東百舌鳥
三国丘 8－4 鳳

▼敗者4回戦

貝塚南 16－9 佐野
久米田 10－8 三国丘

▼敗者5回戦

泉鳥取 13－11 貝塚南
久米田 14－8 岸和田産

▼4位決定戦

久米田 18－12 泉鳥取

▼2、3位決定戦

初芝 22－8 久米田

◎北ブロック予選（4月28、29日、5月3～5日／豊中高、桜塚高）

〈男子〉

▼1回戦

池田北 17－15 吹田東
市岡 38－8 園芸
桜台 23－9 大阪学院
桜塚 16－14 北淀
大商 27－6 豊島
池田 25－12 渋谷
箕面 31－13 箕面学園
東豊中 43－6 西野田

▼2回戦

都島工 49－2 池田北
市岡 30－9 扇町
桜宮 16－13 北野
東淀川 21－18 桜塚
大商 25－16 北陽
池田 22－16 千里
箕面 19－13 追手門
豊中 31－14 東豊中

▼3回戦

都島工 38－6 市岡
東淀川 22－20 桜宮
大商 40－7 池田
豊中 31－13 箕面

▼4回戦

都島工 32－11 東淀川
大商 29－5 豊中

▼決勝

大商 11－11 都島工（9 PTC 8）

▼敗者1回戦

豊島 24－8 池田北
渋谷 13－11 扇町
北野 24－6 箕面学園
桜塚 41－4 西野田
北陽 38－8 吹田東
千里 12－0 園芸
追手門 10－7 大阪学院
北淀 32－10 東豊中

▼敗者2回戦

豊島 25－14 渋谷
北野 24－15 桜塚
北陽 22－11 千里
北淀 26－14 追手門

▼敗者3回戦

桜宮 31－5 豊島
北野 19－16 市岡
北陽 22－7 箕面
北淀 19－16 池田

▼敗者4回戦

桜宮 25－10 北野
北陽 22－14 北淀

▼敗者5回戦

桜宮 14－13 豊中
北陽 30－11 東淀川

▼4位決定戦

桜宮 14－11 北陽

▼2、3位決定戦

都島工 29－10 桜宮

◎中ブロック（4月21、28、29日、5月3、5、6日／桃山学院、大谷高、八尾高、天王寺高、阪南高）

〈男子〉

▼1回戦

羽曳野 24－13 池島
阪南 39－15 東住吉
八尾東 25－7 高津
住吉 36－8 阿倍野
天王寺 25－12 藤井寺
八尾 42－13 山本
東住吉 24－7 藤井寺工
教育大附平野 22－21 柏原
大和川 20－5 商大附

▼2回戦

桃山学院 24－7 羽曳野
阪南 17－16 清風
住吉 26－11 八尾東
上宮 18－14 天王寺
八尾 15－6 生野
花園 22－15 東住吉
勝山 24－20 教育大附平野
此花学院 35－4 大和川

▼3回戦

桃山学院 28－13 阪南
上宮 19－13 住吉
花園 18－17 八尾
此花学院 46－3 勝山

▼4回戦

桃山学院 20－12 上宮
此花学院 36－12 花園

▼決勝

桃山学院 15－12 此花学院

▼敗者1回戦

高津 15－11 阿倍野

▼敗者2回戦

山本 12－0 羽曳野
清風 17－2 藤井寺工
八尾東 24－17 柏原
天王寺 キケン 商大附
生野 17－14 池島
東住吉 27－6 東住吉工
高津 18－8 教育大附平野
大和川 15－11 藤井寺

▼敗者3回戦

清風 33－12 山本
天王寺 29－11 八尾東
東住吉 22－14 生野
高津 16－16 大和川（2 PTC 0）

▼敗者4回戦

住吉 23－15 清風
天王寺 24－15 阪南
東住吉 17－11 勝山
八尾 29－6 高津

▼敗者5回戦

天王寺 28－11 住吉
八尾 19－10 東住吉

▼敗者6回戦
天王寺 21－14 花園
上宮 26－14 八尾

▼4位決定戦
上宮 23－16 天王寺

▼2、3位決定戦
此花学院 25－14 上宮

〈女子〉

▼1回戦
高津 14－9 生野
藤井寺 17－11 八尾東
八尾 8－7 鶴見商
山本 16－4 西浦
信愛女 32－1 清友

▼2回戦
四天王寺 22－6 高津
藤井寺 17－14 東大阪
大和川 34－2 池島
大谷 31－7 八尾
山本 15－12 住吉
城南 30－3 樟蔭東
東住吉 9－7 天王寺
阪南 9－7 信愛女

▼3回戦
四天王寺 33－2 藤井寺
大谷 14－10 大和川
城南 23－6 山本
阪南 16－3 東住吉

▼4回戦
四天王寺 14－7 大谷
城南 11－11 阪南 (2 PTC 1)

▼決勝
四天王寺 18－7 城南

▼敗者1回戦
東大阪 10－5 西浦
清友 10－9 池島
住吉 16－6 生野
樟蔭東 7－4 八尾東

天王寺 10－9 鶴見商

▼2回戦
高津 16－7 東大阪
八尾 36－2 清友
住吉 10－8 樟蔭東
信愛女 8－7 天王寺

▼敗者3回戦
大和川 9－9 高津 (4 PTC 3)
八尾 19－4 藤井寺
東住吉 14－10 住吉
信愛女 12－8 山本

▼敗者4回戦
大和川 15－11 八尾
東住吉 11－8 信愛女

▼敗者5回戦
大和川 11－7 阪南
大谷 13－6 東住吉

▼4位決定戦
大谷 25－11 大和川

▼2、3位決定戦
城南 13－8 大谷

◎中央大会
(5月12日、6月2、9、15、16日／初芝高、堺工業高)

〈男子〉

▼1回戦
大商 27－15 加納
此花 32－15 高石
三島 15－12 北陽
上宮 26－17 三国丘
天王寺 18－17 泉陽
都島工 21－5 淀川工
桃山学院 29－9 登美丘
摂津 19－15 桜宮

▼2回戦
大商 19－18 此花
三島 18－17 上宮
都島工 33－11 天王寺
桃山学院 23－16 摂津

▼決勝リーグ
大商 22－21 都島工
桃山学院 20－13 三島
桃山学院 12－12 大商
都島工 22－6 三島
三島 26－22 大商
桃山学院 17－15 都島工

[順位]①桃山学院②大商③都島工④三島

〈女子〉

▼1回戦
寝屋川 18－9 金蘭会
城南 13－8 久米田
四天王寺 27－9 泉鳥取
摂津 18－8 桜宮
宣真 33－6 大和川
初芝 13－13 春日丘 (3 PTC 2)
住吉学園 26－7 西寝屋川
大谷 23－4 福島女

▼2回戦
寝屋川 15－7 城南
四天王寺 18－12 摂津
宣真 24－8 初芝
住吉学園 19－6 大谷

▼決勝リーグ
宣真 28－8 寝屋川
四天王寺 17－12 住吉学園
住吉学園 29－10 寝屋川
四天王寺 18－7 宣真
四天王寺 23－6 寝屋川
宣真 19－17 住吉学園

[順位]①四天王寺②宣真③住吉学園④寝屋川

東京都高校春季大会

〈男子〉

▼1回戦
修徳 21－19 目黒
深川 19－9 荻窪
錦城 13－12 武蔵野北
青山学院 17－14 両国
開成 16－14 成城
東大和 25－20 田無
国立 22－11 調布北
大泉北 15－14 都青山
府中西 19－6 武蔵村山
拓大一 30－4 松ヶ谷
杉並 26－5 園芸
墨田川 32－9 雪谷
東村山 45－6 田無工
武蔵村山東 25－19 保谷
江戸川 24－13 豊多摩
駒沢 20－14 大泉
富士森 25－12 日野台
佼成 25－8 南
西 18－10 葛飾野
三鷹 27－20 南野
昭和一 23－17 秋川
蒲田 27－8 光ヶ丘
都武蔵 19－11 八王子東
忠生 18－14 五商
南葛野 15－14 城西
三宅 29－18 新宿
立川 30－3 久留米

▼2回戦
修徳 28－11 本所
鷲宮 15－12 深川
野津田 24－13 錦城
福生 20－9 館
筑波大駒場 22－18 青山学院
開成 24－6 城北
東大和 不戦勝 創価
国立 14－9 府中東
大泉北 17－13 日大二
小岩 不戦勝 足立
明星学園 22－20 府中西
拓大一 28－7 秋留台
杉並 22－14 向丘
墨田川 21－15 江北
東村山 26－14 小金井北
武蔵村山東 38－14 南多摩
江戸川 18－11 篠崎

駒沢 36－2 大泉学園
富士森 26－9 東大和南
神代 39－3 羽村
佼成 18－15 富士
早大学院 27－20 西
日野 29－12 三鷹
清瀬 17－16 昭和一
蒲田 23－14 明正
科学技術学園 23－12 武工大附
都武蔵 16－12 八王子工
国分寺 33－15 忠生
南葛飾 31－17 向島
東京 21－8 三宅
立川 28－15 都昭和
砂川 21－12 小平西

▼3回戦
修徳 34－18 鷺宮
福生 20－15 野津田
筑波大駒場 17－9 開成
国立 27－17 東大和
小岩 22－17 大泉北
拓大一 22－9 明星学園
墨田川 17－13 杉並
東村山 32－15 武蔵村山東
江戸川 20－18 駒沢
神代 24－12 富士森
佼成 21－8 早大学院
日野 30－12 清瀬
科学技術学園 24－13 蒲田
国分寺 22－16 都武蔵
東京 14－9 南葛飾
立川 24－15 砂川

▼4回戦
修徳 22－11 福生
筑波大駒場 17－16 国立
拓大一 15－10 小岩
東村山 26－15 墨田川
江戸川 19－18 神代
佼成 14－12 日野
国分寺 23－11 科学技術学園
立川 25－8 東京

▼5回戦
明星 29－6 修徳
府中 26－21 筑波大駒場
拓大一 23－13 学芸大附
早実 21－20 東村山
中大附 17－9 江戸川
石神井 17－13 佼成
農大一 19－19 国分寺（3 PTC 2）
日体荏原 24－14 立川

▼6回戦
明星 24－14 府中
拓大一 21－18 早実
中大附 16－15 石神井
日体荏原 18－14 農大一

▼準決勝
明星 29－8 拓大一
日体荏原 17－13 中大附

▼3位決定戦
中大附 17－13 拓大一

▼決勝
明星 30（17－5、13－7）12 日体荏原

〈女子〉

▼1回戦
目黒 14－5 荻窪
南葛飾 8－7 杉並
日野台 24－2 調布北
農大一 22－2 葛飾商
井草 19－3 雪ヶ谷
府中東 20－9 南野
福生 16－4 小金井北
小岩 7－4 豊多摩
大泉北 17－6 明正
五商 9－8 東村山
国立 19－1 武蔵野北
菊華 11－8 墨田川
青山学院 9－8 篠崎
東大和 17－6 田無
二商 11－9 武蔵
石神井 不戦勝 鷺宮
葛飾野 18－8 一宮
明星学園 17－4 砂川
武蔵村山東 13－8 松ヶ谷
学芸大附 8－2 大泉学園
桜水商 11－5 立教女
清瀬東 不戦勝 羽村
府中 不戦勝 農業
西 14－1 本所
江戸川 不戦勝 四谷商
拓大一 22－5 館
府中西 9－6 共立二
南 17－6 光ヶ丘
富士 不戦勝 園芸
小平 17－10 吉祥女

▼2回戦
目黒 12－3 南葛飾
日野台 11－10 富士森
井草 11－6 農大一
福生 21－6 府中東
大泉北 15－4 小岩
五商 12－7 国立
青山学院 12－6 菊華
東大和 22－9 二商
石神井 26－1 葛飾野
明星学園 17－5 武蔵村山東
桜水商 26－5 学芸大附
府中 18－3 清瀬東
西 7－6 江戸川
拓大一 10－9 府中西
富士 14－2 南
小平 17－2 保谷

▼3回戦
日野台 16－7 目黒
井草 14－10 福生
国立 19－4 大泉北
東大和 8－7 青山学院
明星学園 8－5 石神井
桜水商 18－5 府中
西 13－11 拓大一
小平 15－7 富士

▼4回戦
藤村女 22－4 日野台
日野 18－6 井草
江東商 18－4 国立
神代 18－5 東大和
桐朋 13－4 明星学園
日体桜華 12－6 桜水商
国分寺 14－4 西
佼成女 22－9 小平

▼5回戦
藤村女 23－8 日野
江東商 15－10 神代
桐朋 20－7 日体桜華
佼成女 27－12 国分寺

▼準決勝
藤村女 23－8 江東商
佼成女 14－13 桐朋

▼3位決定戦
桐朋 15－10 江東商

▼決勝
佼成女 16（6－9、10－5）14 藤村女

全国高校総体千葉県予選

（6月15、16日／市川市民体育館）

〈男子〉

▼1回戦
市川 27－11 柏南
芝工大柏 12－10 若松
船橋旭 15－14 佐原
二松学舎沼南 28－22 東邦大付東邦

▼準決勝
市川 18－12 芝工大柏
二松学舎沼南 23－19 船橋旭

▼決勝
市川 21（10－4、11－7）11 二松学舎沼南

※市川は3年連続4回目の優勝。

〈女子〉

▼1回戦

東邦大付東邦 10—6 和洋女大付国府台女
昭和学院 23—8 柏南

▼決勝
昭和学院 18（10—7、8—5）12 東邦大付東邦

※昭和学院は12年連続19回目の優勝。

全国クラブ選手権大会予選兼 第15回関東クラブ選手権

（6月29、30日／市原臨海体育館、三井石油体育館、出光興産体育館）

〈男子1部〉

▼1回戦
日川ク（山梨）42—9 小金ク（千葉）
笠間ク（茨城）33—7 日立栃木ク（栃木）
富岡ク（群馬）21—15 三春台ク（神奈川）
桜門ク（東京）31—12 46G会（埼玉）

▼準決勝
日川ク 35—14 笠間ク
桜門ク 30—19 富岡ク

▼決勝
日川ク 34（13—11、12—14、2—2、1—1、3—2、3—3）33 桜門ク

▼敗者復活1回戦
小金ク 34—16 日立栃木ク
46G会 19—18 三春台ク

▼敗者復活2回戦
笠間ク 25—22 46G会
富岡ク 33—18 小金ク

[順位]①日川ク②桜門ク③笠間ク、富岡クの4チームが全国大会へ出場。

〈女子1部〉

▼1回戦
光電ク（群馬）27—11 川崎北ク（神奈川）

▼準決勝
光電ク 24—18 武蔵野ク（東京）
日川ク（山梨）27—4 水郷ク（千葉）

▼決勝
光電ク 28（13—5、15—10）15 日川ク

▼敗者復活1回戦
川崎北ク 18—8 水郷ク

▼敗者復活2回戦
武蔵野ク 20—10 川崎北ク

[順位]①光電ク②日川ク③武蔵野クの3チームが全国大会出場。

〈男子2部〉

▼1回戦
学芸球駿会（東京）25—18 甲府ク（山梨）
筑波学園ク（茨城）24—19 旭ク（神奈川）

▼準決勝
学芸球駿会 26—15 さわらク（千葉）
筑波学園ク 30—22 藤岡ク（群馬）

▼決勝
筑波学園ク 22（11—10、11—11）21 学芸球駿会

〈女子2部〉

▼決勝
佐原メッツ（千葉）10（6—3、4—2）5 前橋ク（群馬）

東京都高校総体

〈男子〉

▼1回戦
東京 17—4 大崎
鷺宮 27—15 明正
江北 23—11 練馬
本所 19—10 向丘
五商 19—12 東京育生
東村山 36—16 三鷹
私城北 21—18 駒沢
葛飾野 29—5 光丘
小岩 34—7 新宿
立川 24—13 創価
府中西 32—15 小平南
小金井北 23—16 錦城
福生 15—14 府中東
豊多摩 26—13 上野
青山学院 20—6 三宅
墨田川 19—14 都青山
国分寺 24—10 昭和一工
東大和 22—13 八王子工
篠崎 24—21 科学技術
富士 25—2 南
佼成 31—5 駒込
両国 21—13 日大二
早大学院 14—11 修徳
学芸大附 46—2 武蔵丘
成城 22—12 深川
雪谷 22—17 足立
砂川 25—9 田無工
日野 31—12 秋留台
江戸川 27—17 大泉北
葛西南 キケン 小石川工
西 20—17 広尾
野津田 24—8 昭和
田無 21—11 久留米
武蔵村山東 47—15 秋川
井草 34—5 園芸
世田谷工 キケン 大泉学園
目黒 30—9 向島商
国立 33—7 東大和南
保谷 17—10 武蔵村山
城西 18—14 東
江東工 29—16 荻窪
筑波大駒場 27—15 武蔵工大附
蒲田 キケン 南葛飾

▼2回戦
東京 20—18 鷺宮
江北 18—12 本所
明星学園 27—10 五商
東村山 28—5 八王子東
杉並 27—17 私城北
小岩 28—7 葛飾野
立川 30—6 武蔵野北
府中西 31—19 南野
小金井北 25—16 調布北
福生 36—17 忠生
豊多摩 30—13 大泉
青山学院 37—24 墨田川
国分寺 33—11 日野台
東大和 25—5 羽村
富士 18—7 篠崎
佼成 21—7 両国
学芸大附 17—15 早大学院
成城 25—18 雪谷
砂川 29—11 富士森
日野 23—11 小平西
江戸川 40—6 葛西南
西 31—11 白鷗
神代 26—19 野津田
田無 23—13 南多摩
武蔵村山東 30—24 武蔵
清瀬 23—9 稲城
井草 24—4 世田谷工
目黒 キケン 開成
国立 31—8 館
保谷 25—3 松ヶ谷
城西 17—10 江東工
筑波大駒場 キケン 蒲田

▼3回戦
東京 22—7 江北
東村山 24—18 明星学園
小岩 30—14 杉並
立川 15—13 府中西
福生 20—18 小金井北
青山学院 24—16 豊多摩
国分寺 33—12 東大和
富士 17—13 佼成
学芸大附 24—14 成城
日野 22—15 砂川
江戸川 31—18 西
神代 22—6 田無
清瀬 27—25 武蔵村山東
目黒 24—11 井草
国立 26—11 保谷
筑波大駒場 21—16 城西

▼4回戦
東村山 24—8 東京
小岩 18—16 立川
青山学院 18—16 福生
富士 13—7 国分寺
日野 20—15 学芸大附
江戸川 18—14 神代
目黒 27—13 清瀬
国立 12—10 筑波大駒場

▼5回戦
明星 37—9 東村山
石神井 24—13 小岩
農大一 16—15 青山学院
拓大一 10—9 富士
中大附 10—7 日野
府中 18—16 江戸川
目黒 25—18 早稲田実業
日体荏原 17—10 国立

▼6回戦
明星 26—15 石神井
拓大一 19—12 農大一
中大附 16—14 府中
日体荏原 26—14 目黒

▼決勝リーグ
明星 31—12 拓大一
日体荏原 18—16 中大附
明星 17—16 日体荏原
中大附 15—14 拓大一
明星 17—16 中大附

日体荏原 22－13 拓大一
[順位]①明星②日体荏原③中大附④拓大一

〈女子〉

▼1回戦
保谷 15－3 武蔵野北
富士 11－6 学芸大附
井草 22－6 白鷗
南葛飾 12－6 園芸
青山学院 26－2 鷺宮
菊華 18－7 明正
吉祥女 キケン 羽村
荻窪 11－8 上野
小岩 9－3 練馬

▼2回戦
農大一 13－10 立教女
大泉北 12－10 葛飾野
八王子東 11－8 南野
小平 13－6 保谷
西 20－3 三商
富士 12－7 江戸川
国立 17－5 館
田無 13－7 共立二
武蔵丘 9－4 本所
井草 25－12 雪谷
東大和 キケン 農業
二商 15－9 小平西
豊多摩 キケン 東
石神井 30－0 南葛飾
明星学園 17－4 東京菅生
府中西 14－3 武蔵村山東
葛飾商 9－3 光丘
青山学院 キケン 南
府中東 16－1 小金井北
拓大一 22－7 砂川
墨田川 17－2 向島商
菊華 17－2 杉並
東山 25－9 吉祥女
日野台 19－7 松ヶ谷
篠崎 12－6 目黒
広尾 16－4 荻窪

府中 17－2 武蔵
五商 30－7 武蔵野女
桜水商 19－5 文化女
一商 9－7 小岩
福生 24－2 清瀬東
富士森 14－1 調布北

▼3回戦
農大一 20－12 大泉北
小平 27－2 八王子東
西 11－10 富士
国立 12－4 田無
井草 27－4 武蔵丘
東大和 15－8 二商
石神井 28－2 豊多摩
明星学園 11－8 府中西
青山学院 14－4 葛飾商
拓大一 19－9 府中東
墨田川 14－11 菊華
東村山 21－11 日野台
広尾 11－9 篠崎
府中 10－8 五商
桜水商 32－0 一商
富士森 10－6 福生

▼4回戦
小平 12－8 農大一
国立 16－11 西
東大和 13－7 井草
石神井 15－1 明星学園
拓大一 10－8 青山学院
東村山 19－6 墨田川
広尾 11－10 府中
桜水商 20－12 富士森

▼5回戦
佼成女 15－8 小平
神代 16－6 国立
国分寺 13－9 東大和
石神井 14－7 江東商
桐朋女 22－14 拓大一
日野 18－6 東村山
日体桜華 14－3 広尾
藤村女 14－6 桜水商

▼6回戦
佼成女 14－9 神代
石神井 20－8 国分寺
桐朋女 18－16 日野
藤村女 16－10 日体桜華

▼決勝リーグ
佼成女 10－9 石神井
藤村女 16－14 桐朋女
藤村女 15－10 佼成女
桐朋女 15－12 石神井
佼成女 13－10 桐朋女
藤村女 11－5 石神井
[順位]①藤村女②佼成女③桐朋女④石神井

国体宮城県予選

（7月13、15、16、17日／県スポーツセンター、仙台市体育館）

〈成年男子〉

▼1回戦
仙台大OB 35－18 古川工OB

▼準決勝
宮城教員 31－18 仙台大OB
育英ク 27－26 学院大OB

▼決勝
宮城教員 25－20 育英ク

〈成年女子〉

▼1回戦
聖和ク 26－13 古川商ク
涌谷OG会 21－8 宮城送球会

▼決勝
聖和ク 29－13 涌谷高OG

〈少年男子〉

▼1回戦
仙台一 15－10 泉松陵
塩釜 16－14 仙台
仙台向山 26－4 名取北
仙台西 32－12 宮城水産
電子工 50－4 学院榴ヶ岡
東北 27－15 佐沼
仙台商 22－11 宮城広瀬

育英 27－5 泉館山
仙台南 22－11 一迫商

▼2回戦
古川工 23－9 仙台一
SNHC 22－12 塩釜
仙台向山 21－17 仙台西
電子工 33－21 宮城工
古川 22－10 東北
古川商 26－11 仙台商
育英 42－11 築館
育英・向山ク 22－5 仙台南

▼3回戦
古川工 31－16 SNHC
仙台向山 32－26 電子工
古川 17－10 古川商
育英・向山ク 30－12 育英

▼準決勝
古川工 24－9 仙台向山
育英・向山ク 17－12 古川

▼決勝
古川工 23（13－10、10－10）20 育英ク・向山

〈少年女子〉

▼1回戦
塩釜女 27－2 仙台西
宮城三女 12－9 名取北
古川商 15－11 宮城二女
飯野川 20－5 古川女
宮城二女 12－3 泉館山
仙台女商 11－7 築館女

▼2回戦
涌谷 9－3 塩釜女
古川商 15－9 宮城三女
飯野川 16－4 宮城二女
聖和 22－5 仙台女商

▼準決勝
涌谷 22－9 古川商
聖和 12－11 飯野川

▼決勝
聖和 10（4－5、6－2）7 涌谷

第13回 インテラムニアカップ

日本女子ジュニア健闘、強敵相手に第3位に

第13回インテラムニアカップは7月4日から10日まで、ソ連、韓国、エジプト、アイスランド、カナダ、台湾、イタリア、それに日本の8ヵ国が参加して、イタリアのテラモで開催された。

日本からは例年のように別表のようなジュニアチームが派遣されたが、今大会はソ連、韓国などの強敵を相手によく健闘、韓国戦は惜しくも1点差で敗れたが、5勝2敗で第3位という頑張りをみせた。世界各国ともジュニアの強化には力を入れて来ており、こうしたジュニア中心とした大会でもナショナルメンバーに近い陣容で臨んでくるところも多い。日本もこれからこうしたジュニアの健闘を足がかりに大きく国際舞台での活躍を願いたいものだ。

▽7月4日

日　本24（11－5、13－8）13エジプト

［得点］近藤6、井沢、久保田各5、宮川3、上西、磯山各2、執印1。

○…試合開始より近藤のサイドシュートでPTを誘うなど6本のPTで8－2とする。エジプトのドリブルからのつっ込みに退場者が出て得点されるが、前半11－5で終了。後半はディフェンスを早めに前に出し相手の攻撃をつぶし、井沢、久保田が速攻につなぎ、24－13で勝利を収める。

▽7月5日

日　本17（7－8、10－6）14イタリア

［得点］近藤、久保田各5、井沢、宮川2、長谷川1。

○…スタート好調な出足で近藤井沢などの得点により5－2とするが、GK小深田の速攻のスローミスが続き同点とされる。さらに前半残り6秒に逆転シュートを決められ7－8で前半を終了。

後半1点を争うゲームが続き、会場は盛り上がった。相手退場を生かして近藤の得点でリード、その後久保田、井沢などで4点差として試合を決定した。

▽7月6日

韓　国24（13－8、11－15）23日　本

［得点］近藤、井沢各6、宮川4、上西3、久保田2、大角、市川各1。

○…ゲーム開始より5分間お互いに点が入らず、その後接戦をするが、パスミス、キャッチミスが出て攻撃の型が作れず、5点差で前半を終了。

後半の出だしで7点差になるが、近藤、井沢の速攻、サイドシュートで追い上げ、残り1分30秒に同点となる。しかし韓国15番のロングで再び1点リードされ、残り30秒、井沢のカットインで同点かと思われたが、相手退場で得点にならず1点差の惜敗。

▽7月7日

日　本24（13－12、11－11）23カナダ

［得点］久保田6、井沢、宮川、上西各4、長谷川、市川各3。

○…キャプテン近藤を欠いた日本チームだったが、長谷川、上西久保田らの頑張りで前半常に1点から2点リードする。しかし、カナダ13番のロング、7番のサイドシュートで追いつかれる。

後半、GK小深田を中心にディフェンスを頑張り速攻につなげる。残り5分、4点のリードをするがミスが出て1点差まで追い上げられたがよくもちこたえて勝つ。

▽7月8日

日　本24（9－10、15－10）20台　湾

［得点］井沢、宮川各5、近藤、久保田各4、上西3、市川2、大角1。

○…ケガ人が多くディフェンスのポジションをだいぶ変えてスタート。PTを井沢、宮川とはずして波に乗れず、一線防御を巧く攻められ得点される。速攻のパスミスが続き前半は1点リードされて終了。

後半、近藤のサイドシュート、宮川のロング、井沢の速攻と連続7点をあげてゲームの大勢を決定づけた。しかし、その後得点出来ず、パスミスなどが出て3点差ま

で追いあげられるが、最終的には4点差で、4月のチュンチェン杯のお返しが出来た。

▽7月9日

ソ連43（18－12、25－8）20日本

［得点］宮川、上西、市川、久保田各4、近藤2、井沢1。

○…出だし、久保田の速攻シュートのミスで得点出来ず、その後ソ連の2番を中心とするポストプレー、速攻などで連続13点をあげる。日本は15分間無得点だったが市川のロングで初得点、前半8得点で終了。

後半はステップシュート、クロスのカットインなどで追いあげたが、185cm以上の選手4人がフルにオフェンス、ディフェンスで動き回り、身長、パワー！の差がはっきり表われた。

日本はもう少しカットインなどのスピードが欲しかった。

▽7月10日

日本24（13－10、11－8）18アイスランド

［得点］久保田7、宮川5、長谷川4、近藤、井沢、上西各2、市川、執印各1。

○…サイド、ポストのつなぎが良く、長谷川のカットイン、上西の間割りと8－4とするが、その後足が止まり、ディフェンスにもミスが出て得点が10点で止まり2点差まで追い上げられたが、前半は11－8で終了。

後半は腕の負傷の近藤をつぎこんでなんとか差を広げようとするが、3点と4点の差でいったりきたり。宮川のロング2発で残り8分5点差になり勝負を決定した。

7日連続のリーグ戦で、負傷者と疲れのピークの中5勝2敗の成績で3位を得たことは日本チームの今後に大きな自信となると思われる。

▼他の試合

ソ連 34－23 韓国
ソ連 34－7 エジプト
ソ連 31－15 アイスランド
ソ連 35－17 カナダ
ソ連 45－17 台湾
ソ連 不明 イタリア
韓国 31－14 エジプト
韓国 28－20 アイスランド
韓国 31－27 カナダ
韓国 18－16 台湾
韓国 30－19 イタリア
イタリア 18－13 エジプト
イタリア 16－13 アイスランド
イタリア 19－17 カナダ
イタリア 26－26 台湾
カナダ 不明 エジプト
カナダ 27－22 アイスランド
カナダ 24－20 台湾
台湾 16－16 エジプト
台湾 27－26 アイスランド
アイスランド 23－12 エジプト

［順位］

①ソ連（7勝）
②韓国（6勝1敗）
③日本（5勝2敗）
④イタリア（3勝3敗1分）
⑤カナダ（3勝4敗）
⑥台湾（1勝4敗2分）
⑦アイスランド（1勝6敗）
⑧エジプト（6敗1分）

女子ジュニア インテラムニアカップ 派遣メンバー

役職	氏名	所属	
監督	鈴木義男	日本協会	女子ジュニア監督
コーチ	山崎武	〃	〃 コーチ
技術調査	笠原利宏	昭和学院高等学校	
総務	田川正明		
滞同審判	西村興八	神戸製鋼	

選手		氏名	生年月日	身長(cm)	体重(kg)	所属
G.K	1.	山口　妙美	'65.12.10.	168.	63.	ジャスコ
	12.	小深田由紀子	'66. 1. 4.	173.	62.	ジャスコ
	16.	小口　明子	'66. 6.13.	171.	63.	日本ビクター
F.P	2.	近藤　育子	'65. 3.15.	160.	64.	ジャスコ
	3.	長谷川直美	'65. 1.24.	170.	59.	立石電機
	4.	井沢由美子	'65. 3. 2.	158.	57.	日立栃木
	5.	宮川　明美	'65.10. 2.	172.	62.	日本ビクター
	6.	上西二三代	'66. 1.28.	164.	60.	大和銀行
	7.	大角　珠生	'65. 8.14.	170.	64.	大阪体大
	8.	市川　千恵	'65. 4.10.	169.	67.	東京重機
	9.	島崎　純子	'65.10.21.	174.	64.	シャトレーゼ
	10.	久保田美香	'65.12. 2.	164.	58.	ブラザー工業
	11.	磯山　弘美	'67.10. 3.	170.	63.	水海道二高
	13.	執印　真樹	'70.12.25.	173.	57.	桜木中学

ホンヂ市ハンドボールフェスティバル"85

（7月12～17日・25分ゲーム）

▽7月13日

イタリアナショナル22（12－9、10－9）18日本

［得点］近藤5、長谷川、井沢、宮川各3、久保田2。

▽7月14日

カナダ23（12－12、11－3）15日本

［得点］井沢5、宮川4、磯山2、近藤、市川各1。

▽7月15日

カメルーン24（13－14、11－8）22日本

［得点］近藤8、宮川5、井沢3、久保田2、長谷川、大角、磯山各1。

▽7月6日

日本28（13－11、15－8）19デンマーク

［得点］宮川9、近藤、井沢各6、島崎、久保田各2、長谷川、大角、執印各1。

全日本男子アメリカ遠征報告

新生男子全日本チームが、7月4日から14日まで、アメリカ西海岸に遠征、アメリカ選抜チームと4試合を行なうとともに、初のホームステイという方式による宿泊でアメリカの人々と交流を深めて来た。ここに、今回の遠征の狙いと成果について渡辺団長以下選手たち数人の感想文で紹介しよう。

今遠征での経験が将来有意義に

団長・渡辺慶寿

ロサンゼルス・オリンピックが終わり1年が過ぎた。ソウル・オリンピックもあと3年である。その間アジアの予選を通過することが先決であることは、いうまでもない。中近東諸国の強化の状態については、現在のところ皆目見当がつかないが、少なくとも、韓国の情勢に対して焦点を合せることが容易である。次回のオリンピックは、韓国抜きの中国に標準を合わせるのみでよいことから考えることは、かなりの優位説も出ることではあるが、現段階では、中国、韓国はすでに日本に追い着き、むしろ追い越しているのが現状である。

今年の5月に中国戦を試みたところ、互角あるいは力不足の結果に終った。しかしこの計画は、われわれにとって中国資料の入手の困難性から考えると成果は大きかったといえよう。

ロサンゼルス・オリンピック後チームは新しい体制を引き、選手たちも大幅に入替り、強化目標を体力増強に置き、着々と成果をあげようとしている状態であったものの、中国チームと比較して、体力、技量共劣り、今一歩の進歩を期待するに終った。

当初男子ナショナルチームは、国際経験の浅さから、欧州遠征を企てたが、諸般の事情から中止を余儀なくされた。中国戦を顧みパワフルで大型チームを考えると、どうしてもこの時期に体験を積ませることが今後につながることから考え、適当な対策をやらなければならない。幸いなことに、私が昨年11月に渡米した際、アメリカ連盟のMr. マイク・キャバナーに、チームの渡米の意向をもらした。

今年に入りMr. マイク・キャバナー（アメリカ連盟副会長）より8月にアメリカナショナルチームがコロラド・スプリングキャンプトレーニング場で、長期にわたりトレーニングに入る。日本チームも参加してはどうかとの知らせを受けた。かねてから将来中国戦に向けて焦点をしぼるなら、大型でパワフルな展開をするアメリカのチームはうって付けの練習相手であることを判断して、時期的にはずれるが交渉に移った。この間ロサンゼルス・オリンピックの時の通訳を担当していただいたMrs. ルース・ヤマモトを仲介として実現の運びとなった。

アメリカの遠征時の対戦相手は、アメリカ選抜チームでロサンゼルス近郊の現、旧ナショナル選手を集めてのチーム構成である。結果は、1勝3敗に終った。現在の日本のナショナルチームにとっては、この対戦は将来有意に成長させるであろう。また今回の遠征は、選手たちの感想にも随所にでてくる通り、ホームステイであり、選手たちは各家庭に分散宿泊をした。かなりの不安があったものの、結果としては、精神的にも大きくなったことであろう。

また第2戦目の時、山本選手がまぶたを負傷、途中退場するという事故があった。しかし、この際のアメリカ側の処置は実に素晴らしく直ちに観戦中の医師を呼び寄せ傷口を縫合、10分後には山本選手は試合に復帰していた。こうしたアメリカ側の処置の適切さ、また体育館の医務室で直ちにこうした手術が出来る設備があるという点に大変感心したし、今後日本でもこうした点を見習う必要があるだろう。

新聞には、ロサンゼルス・オリンピックの再現と大きくのり、U・T・B（ユナイテッドテレビ放送網）の取材、放映があったりしたが、各会場は質素なものであったが、全試合を家族全員で観戦していただいた。在米の日本人もいて、全日程を通して随所に心温るものを感じた遠征であった。

最後にこの遠征に際し、チームを2度にわたり、夕食に招待していただいた湧永製薬、そしてボランティアを心よく引き受けてくれたホームステイの方々、昼食や夕食を招待していただいた方々、全日程の輸送を担当していただいたMr. キャバナー、Miss. エイテル、Mrs. ヤマモトには、この誌面を借り、お礼を申し上げます。

日本男子ナショナルチーム アメリカ遠征合宿メンバー

団長　渡辺慶寿
ヘッドコーチ　津川　昭
コーチ　佐藤要二

選手		氏名	年齢	所属
G.K	1.	井藤　英忠	26	湧永製薬
〃	12.	大畑　孝広	28	本田技研鈴鹿
〃	16.	矢内　浩	24	大崎電気工業
F.P	2.	西山　清	26	日新製鋼
〃	3.	藤井　泉	26	日新製鋼
〃	4.	志賀　良弘	29	湧永製薬
〃	5.	奥田　新治	26	湧永製薬
〃	6.	高木　俊二	25	日新製鋼
〃	7.	立木　浩二	25	本田技研鈴鹿
〃	8.	玉村　健次	24	湧永製薬
〃	9.	内藤　裕治	22	本田技研鈴鹿
〃	10.	田口　隆	23	本田技研鈴鹿
〃	11.	荷川取義信	23	湧永製薬
〃	14.	首藤　信一	20	大崎電気工業
〃	15.	山本　興道	25	大崎電気工業
〃	17.	酒巻　清治	23	湧永製薬

アメリカでの戦績

日付	チーム	得点	前半	後半
7月6日	アメリカ選抜	28	16	13
	日本	23	12	11
7月7日	アメリカ選抜	22	9	13
	日本	19	7	12
7月10日	日本	32	15	17
	アメリカ選抜	28	13	15
7月11日	アメリカ選抜	22	11	11
	日本	18	11	7

今後の課題が浮き彫りに

ヘッドコーチ・津川　昭

今回のアメリカ遠征については、当初の計画から大巾な変更を余儀無くされた。それは日程等の問題ではなく、チームの強化という意味においてである。昨年10月からの何回かの合宿、及び中国との試合等で少しづつではあるが全日本チームとして型が出来つつあった。それが今回の遠征メンバーは、国

内スケジュール等の関係でたった一日半の練習で旅立つことになった。私は海外から日本に来るチームの中で、たいした実力もないのに観光気分が強く、試合をやってみればミスばかりで見ている者はもちろんゲームをやってる者ですらおもしろくないようなチームをひどく軽蔑するが、こんな状態で遠征に行っても、それだけは避けようと決心し日本を離れた。

　アメリカのハンドボールはロサンゼルス・オリンピック終了後も、カリフォルニアを中心に地道に活動を続け、今回の我々の訪問を新聞もなかなか大きくとりあげていた。今回の対戦相手はナショナルチームだけではなく、このカリフォルニアを中心に選抜したチームで、ロスのメンバーが6名含まれていた。ロサンゼルス・オリンピック時のような切れ味はなかったが、スティーブ・ゴスが若いながらもいいプレーをしていた。結局1勝3敗という成績で終ったが、内容的にはまずまずのものがあり、今後の課題が浮き彫りにされ、意義のある遠征に出来たと思う。

　今回の遠征で特におもしろかったのは、何人かづつアメリカ人の家庭に入って寝食を共にしたことだ。最初は不安がった選手たちも次第に慣れ、家族ともずいぶん親しくなれたようだ。ただかなり当りはずれがあったようで、昼間から寿司を食べている所もあれば、自分たちでパンを焼く所があったりで、それぞれの家庭の話を聞くのが楽しかった。

　アメリカのハンドボールはまだまだ日本以上にマイナーであるが、今回接した人々は、強い情熱を持って、また積極的に活動し、ハンドボールを広めようと必死になっているのが印象的であった。

素晴らしかったホームステイ

井藤英忠

　ロサンゼルス・オリンピックが終わり、新しいメンバーになって初めての海外遠征であった。今回の遠征は、ホームステイということで、出発前は大変不安であった。しかし、行ってみると、これほど外人と親しく接することが出来たのは初めてであった。私は息子となり、家族の一員である。帰る間際にはこれまでの遠征であれば「早く帰って何を食べよう」などの相談でいっぱいだが、今回に限っては淋しくなるばかりで、もう少しアメリカへ残りたい気持ちでいっぱいであった。

　日程は非常にハードであった。ゲームは4ゲームなのだが、ホームステイの為バスの送り迎えに時間がかかり、練習、見学と1日がものすごく早かった。バスが早く迎えに来る家は帰りは遅く着くので午前7時出発、午前1時着となる日が多かった。

　ゲームの方は1勝3敗と負け越しであった。中国戦の反省を生かしたかったが、やはり戦う前の心構え、気迫が不足していたと思う。技術的にはパス、キャッチミスといったイージーなミスが多く、コンビプレーがうまくかみ合わなかった。今のチームでもっと多くゲームをしないといけないと思った。精神的にもっと強くなれば、技術も大きくカバー出来ると思う。以前のメンバーは志賀さんをはじめ4名であるが、今のチームで、ロサンゼルス・オリンピックのアジア予選の時のようなムードで戦えるよう頑張りたい。

1人を6人で守る感覚を大切に

西山 清

　私は今まで何回かの海外遠征を経験していますが、今回の遠征では今までにない貴重な体験をする事が出来ました。もちろん昨年のオリンピック出場メンバーのほとんどを抱えているカリフォルニア選抜と試合が出来たということは大きな収穫の1つで、その試合内容も、1勝3敗と、結果的には不本意ではありましたが、遠征直前に急遽編成されたメンバーで、コンビプレー等の合せもほとんどやらずにアメリカへ乗り込んでの戦いではあったけれど、良い面、特にOF面ではそれなりの成果を感じました。でも、DF面では、2m近いポストマンに2m近いフローターの単純な2対2にやられるパターンや、1対1でのロングシュート、カットインにやられるといった単発的なプレーに得点をゆるすパターンが多く、日本チームの弱点が再確認された試合内容でした。これらをやられないようにする為にも、1対1を極力つくらないようにする事、その為にも素速いフォローと、先読みをする力、つまり極端ではあるが、1人を6人で守る感覚でやる事が大切だと思います。

　この意味は、自分の守っている対角にボールがあっても気くばり、次の展開の先読み、そして構えをする事につながると思います。つまり、どこにボールが位置していようと、それぞれのポジションに大切な役割があるものなのです。

　今後、体力的に恵まれていない日本チームは、これらの役割をよく理解し、コンビネーションを確立する事が必要であると思います。

ムードメークについても見習おう

田口 隆

　今回のアメリカ遠征は、私たちにとって全日本選手としての初遠征で記念すべき遠征でありました。

　アメリカでの試合は、4戦して1勝3敗という結果に終わりはしたものの良い勉強になりました。

　今までよく言われてきたことですが、ディフェンスがやはり鍵を握っているようでした。アメリカ人のパワフルなプレーをいかにして止めるかが今回の遠征で私が常に考えてきた事でした。第1にポストへはパスを通させないという事で、これはフローター対して一発で止めてしまうか、激しいプレッシャーを与えて正確なポストへのパスが出来ない状態にしてしまう事にポイントを置いてプレーをしましたが、一発で止めてしまう事が出来ず押し込まれてしまうケースが度々ありました。これは一にも二にもパワー強化を図り、速いフットワーク力をつける他にはないと思いました。

　もう一つは、攻撃のリズムを狂わすという事を考えましたが、なかなかその狂わすタイミングがつかめず、これから攻撃の流れを読む力をつけなければいけない事を痛感しました。

　他に、攻防のどちらでも言える事ですが、ムードメークもアメリカチームに見習う所がありました。自分たちのムードが良くなったら、それだけで相手にプレッシャーを与える事が出来るのですから。これも今後、私が身につけなければならない事だと思いました。

　最後になりましたが、今回の遠征はホームステイという貴重な体験をする事も出来ました。

ジュニア世界選手権
男女の日本代表選手決まる！

先月号でお伝えしました第５回ジュニア世界選手権大会の男女の日本代表メンバーが決定しました。

なお、10月に韓国・ソウルで行なわれる女子の世界選手権の日程表が知らされました。それによりますと予選Ａ組の日本は、まず10月19日の第１戦はポーランドと、第２戦は10月21日ユーゴスラビア、第３戦は10月23日コートジボアールと戦う。準決勝リーグは26、27、29日に行なわれ、決勝、及び順位決定戦は30日に行なわれ全日程を終了する。

12月にイタリアで開催される男子の方は、まだ詳しい日程は知らされていない。

◆第５回男子ジュニア世界選手権大会◆
■日本代表選手■

監　督　本田　洋（強化部ジュニア担当）
コーチ　早川清孝（強化部ジュニア担当）
選　手
ＧＫ１　宇田川竜也（19・中央大学）
　12　橋本行弘（20・本田技研鈴鹿）
　16　高橋克巳（19・早稲田大学）
ＦＰ２　藤井孝一（21・法政大学）
　3　坂口俊幸（19・トヨタ自動車）
　4　斉藤慎太郎（20・日本体育大学）
　5　今村伸吾（21・中部大学）
　6　首藤信一（20・大崎電気）
　7　浜田雄次（21・日本大学）
　8　上山和弘（20・日鉄建材工業）
　9　橋本二次夫（20・日本体育大学）
　10　甲斐章義（19・早稲田大学）
　11　滝沢　勝（18・三　景）
　13　斉藤成行（20・国士館大学）
　14　新井友彦（19・筑波大学）
　15　河原隆雅（21・中部大学）
※８月末現在団長は未定。なお年齢は今年の12月１日現在で計算しました。

◆第５回女子ジュニア世界選手権大会◆
■日本代表選手■

団　長　近藤金博（強化部女子強化委員長）
監　督　鈴木義男（女子ジュニア監督）
コーチ　谷口俊郎（女子ジュニアコーチ）
　〃　　山崎　武（女子ジュニアコーチ）
選　手
ＧＫ１　小深田由紀子（19・ジャスコ）
　12　小口明子（19・日本ビクター）
　16　山口妙美（19・ジャスコ）
ＦＰ２　近藤育子（20・ジャスコ）
　3　長谷川直美（20・立石電機）
　4　井沢由美子（20・日立栃木）
　5　宮川明美（20・日本ビクター）
　6　大野美加（20・日本体育大学）
　7　久保田美香（19・プラザー工業）
　8　上西二三代（19・大和銀行）
　9　梅原直美（20・日本体育大学）
　10　市川千恵（20・東京重機）
　11　大角珠生（20・大阪体育大学）
　13　島崎純子（19・シャトレーゼ）
　14　磯山弘美（18・水海道第二高校）
　15　執印真樹（14・桜木中学校）
※年齢は今年の10月15日現在で計算しました。

告知板

男子世界選手権アジア第１次予選は10月13日からソウルで

来年の２月、スイスで開催される男子世界選手権大会のアジア地区第１次予選の日程について、ＡＨＦより連絡があった。

アジア地区予選は、まず２グループに分けてリーグ戦を行ない、両グループの１位同士で代表決定戦を行なうという方式で、日本はＡグループ（極東ブロック）で韓国、中国と予選リーグを行なう。日程は10月13日～15日までソウルで行なわれることになっており、〝新生全日本〟にとって最初の難関に挑むことになる。

お詫びと訂正

本誌８月号にて重大な誤りがありましたので、ここに深くお詫びするとともに訂正させていただきます。

〈表紙〉
「第10回日本リーグ前期、湧永、大崎が首位で折り返す」とありますが、「湧永、立石が首位で折り返す」にご訂正下さい。
〈本文〉
10ページと11ページの日本リーグの試合結果の中で、チーム名が立石電気となっていますが、正しくは立石電機です。

チーム名を間違えるという重大な間違いを犯し誠に申し訳ございませんでした。ご迷惑をおかけ致しました関係者の方々、及び読者の方々に深くお詫びするとともに、今後このような間違いのないよう努力致します。

〈編集委員会〉

笑顔があります。涙があります。
躍動があります。記録への挑戦があります。
チームプレイの和があります。
からだを動かしていると
人生の大切なものがたくさん見えてきます。
新日鉄は、スポーツを通し
心身を鍛える皆様に声援をおくります。

新日本製鐵

（財）日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』
第二四四号
昭和四十年六月十　日　第三種郵便物認可
昭和六十年八月二十五日　印刷　昭和六十年九月一日　発行
東京都渋谷　一一一
電話　代表　、二三六
振替　東京　六一五八三四八番
編集兼発行人　大野金一
定価三百五拾円（年間購読料三千三百円）